

ワークセンター川端 耐震補強工事

実施設計

平成24年12月
新潟市福祉部
障がい福祉課

ワークセンター川端 耐震補強工事

図面リスト

建築		
A-01	特記仕様書(1)	N.S
A-02	特記仕様書(2)	N.S
A-03	特記仕様書(3)	N.S
A-04	特記仕様書(4)	N.S
A-05	案内図、概要表、配置図	S=1/100
A-06	平面図	S=1/100
A-07	立面図	S=1/100
A-08	展開図、天井伏図(改修前)	S=1/100
A-09	展開図、天井伏図(改修後)	S=1/100
構造		
S-01	構造特記仕様書(1)	N.S
S-02	構造特記仕様書(2)	N.S
S-03	木造耐震補強工事表準図(1)	N.S
S-04	木造耐震補強工事表準図(2)	N.S
S-05	壁配置図	S=1/100
S-06	軸組図、部分詳細図	S=1/50

平成24年度
ワークセンター川端耐震補強工事設計図

仕様書

共通仕様

- 1.本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事情)平成22年版」(以下「仕様」という。)による。
2.仕様に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「新潟市契約規則による標準規定(昭和41年4月1日訓令第9号)別記様式第6号の2の工事請負契約約款、及びその他の関連文書」(以下「約款等」という。)に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。
3.次の各号に該当する仕様の項目について、仕様の規定を別表に置き換えて適用する。
(1) 1章 1.1.2用語の定義の(1)及び(2)
(2) // 1.4.2材料の品質等の(a)及び(b)
(3) // 1.4.4材料の検査等の(a)
(4) // 1.6.1工事検査の(b)及び(d)
4.次に掲げる仕様の規定は、適用しない。
1章 1.1.2 用語の定義の(22)
// 1.6.2 技術検査

別表(建築工事)

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 置き換え後の仕様の規定 (Specification after replacement). It details specific clauses from the standard specification to be replaced, such as definitions of terms, material quality requirements, and inspection procedures.

- 特記仕様
1.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2.特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3.特記事項に記載の()内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考)は標仕の各部配筋参考図を表す。
4.製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また()内は製品名を示す。

Main specification table with columns: 章 (Chapter), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes). It lists various construction items like foundation, concrete, and steel reinforcement with their specific requirements and references.

Table of construction materials and methods, including sections for 鉄筋工事 (Reinforcement Work), 土留工事 (Soil Retention Work), 基礎工事 (Foundation Work), and 鉄骨工事 (Steel Frame Work). It specifies material types, grades, and application methods.

Table of construction materials and methods, including sections for コンクリート工事 (Concrete Work), 鉄骨工事 (Steel Frame Work), and 防火被覆 (Fire Protection). It details material specifications, testing methods, and application requirements.

ワークセンター川端耐震補強工事

特記仕様書(1)

図名: 年月日: 2012.12.01 縮尺: 図面番号: A-01

<p>9 防水工事</p> <p>4 押出成形シート板 (ECP)</p> <p>1 アスファルト防水</p> <p>2 改質アスファルトシート防水</p> <p>3 合成高分子膜シート防水</p> <p>4 塗膜防水</p> <p>5 シーリング</p> <p>6 防水の保証等</p>	<p>(8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・外壁</td> <td>※70mm</td> <td>※15</td> <td>※1000</td> <td>・A種</td> <td>※有り()</td> </tr> <tr> <td>・天井</td> <td>※70mm</td> <td>※15</td> <td>※1000</td> <td>・B種</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>・間仕切り</td> <td>※70mm</td> <td>※15</td> <td>※1000</td> <td>・B種</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>・内装</td> <td>※70mm</td> <td>※15</td> <td>※1000</td> <td>・C種</td> <td>有り()</td> </tr> </table> <p>種別 施工箇所</p> <p>・A I - 2</p> <p>・A - 2</p> <p>・D - 2</p> <p>・B I - 2</p> <p>アスファルト ※3種 (9.2.2)</p> <p>断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25mm 図示 (9.2.2)</p> <p>乾式保護材の材料 (9.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>***</th> <th>適用</th> </tr> <tr> <td>・押出成形シート板 (無薬系)</td> <td>※15 ×</td> <td>※無石棉に換る</td> </tr> <tr> <td>・金属接合板</td> <td>※12 ×</td> <td></td> </tr> </table> <p>種別 施工箇所</p> <p>・A S - 1</p> <p>・A S - 2</p> <p>(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>厚さ</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料塗り</th> <th>使用分類</th> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>・シルバー</td> <td>・非歩行</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・カラー</td> <td>・軽歩行</td> </tr> </table> <p>PCコンクリート部材下地 (9.4.4)</p> <p>目地処理(接着工法) ※図示</p> <p>入隅部の増張り(S-F1, S-F2工法の場合) ※行わない・行う(幅 mm程度)</p> <p>(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・X-1</td> <td></td> <td>仕上塗料塗り</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td></td> <td>・シルバー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・カラー</td> </tr> </table> <p>種別 X-1の脱気装置</p> <p>・設ける 材質 ※製造所標準仕様 ()</p> <p>5 シーリング</p> <p>下表以外は仕様表9.6.1による (9.6.2)(表9.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着性試験 (9.6.5)</p> <p>・行う ※簡易接着性試験・引張接着性試験(施工部位)</p> <p>・行わない</p> <p>6 防水の保証等</p> <p>※防水工事は、新潟県防水工事業協会の施工の場合、防水施工業者、請負者、新潟県防水工事業協会及び新潟県防水工事業協同組合との3者連名の保証書を提出する。</p> <p>協会員以外で新潟県防水工事業協同組合の施工の場合、防水施工業者、請負者及び新潟県防水工事業協同組合との3者連名の保証書を提出する。</p> <p>新潟県防水工事業協同組合員以外の施工で、市が認めた場合は、防水施工業者、請負者及び製造所との3者連名の保証書を提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>工法種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保証期間</th> </tr> <tr> <td>・工法</td> <td></td> <td>10年間</td> </tr> <tr> <td>・工法</td> <td></td> <td>10年間</td> </tr> <tr> <td>・工法</td> <td></td> <td>10年間</td> </tr> </table>	施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能	・外壁	※70mm	※15	※1000	・A種	※有り()	・天井	※70mm	※15	※1000	・B種	無し	・間仕切り	※70mm	※15	※1000	・B種	無し	・内装	※70mm	※15	※1000	・C種	有り()	種類	***	適用	・押出成形シート板 (無薬系)	※15 ×	※無石棉に換る	・金属接合板	※12 ×		種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類	・S-F2			・シルバー	・非歩行				・カラー	・軽歩行	種別	施工箇所	備考	・X-1		仕上塗料塗り	・X-2		・シルバー			・カラー	施工箇所	シーリング材の種類(記号)			工法種別	施工箇所	保証期間	・工法		10年間	・工法		10年間	・工法		10年間	<p>11 2 壁タイル張り工法</p> <p>内装タイル ・壁タイル接着剤張り ・改良積上げ張り (11.3.3)(表11.3.2)</p> <p>外装タイル ・密着張り ・マスク張り</p> <p>下地モルタル塗り ※仕様15.2~15.2.5</p> <p>タイルの試験張り ※行わない・行う(※外装タイル)</p> <p>3 コンクリート素地面の処理</p> <p>※MCR工法又は目録なし工法(ポリマーセメントモルタル下地) (11.3.3)</p> <p>施工範囲 ※図示</p> <p>4 陶磁質タイル型枠先付け工法</p> <p>(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用タイル</th> <th>種別</th> <th>タイル型枠先付け面のせき板</th> </tr> <tr> <td>・小口タイル</td> <td>※タイルシート法</td> <td>※仕様6.9.3[材料](b)(2)又は金属製</td> </tr> <tr> <td>・二丁掛タイル</td> <td>・目地削工法</td> <td>タイル先付け用パネル</td> </tr> <tr> <td>・大形タイル</td> <td>・積木法</td> <td></td> </tr> </table> <p>12 ①木材の品質</p> <p>②樹種</p> <p>③集成材</p> <p>④接着剤</p> <p>⑤防腐・防蟻処理</p> <p>13 ①長尺金属板葺</p> <p>②折板葺</p> <p>③とい</p> <p>14 ①あと施工アンカーの引抜き耐力試験</p> <p>2 ステンレスの表面仕上げ</p> <p>3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <p>4 鉄鋼の亜鉛めっき</p>	適用タイル	種別	タイル型枠先付け面のせき板	・小口タイル	※タイルシート法	※仕様6.9.3[材料](b)(2)又は金属製	・二丁掛タイル	・目地削工法	タイル先付け用パネル	・大形タイル	・積木法		<p>14 5 軽鉄骨天井下地</p> <p>15 金属工事</p> <p>6 金属成形板張り</p> <p>7 7mm厚鋼製木</p> <p>8 手すり及びタラップ</p> <p>16 左官工事</p> <p>1 1 床コンクリートの直均し仕上げ</p> <p>2 仕上塗料仕上げ</p> <p>16 1 見本の製作等</p> <p>2 防犯建物部品</p> <p>3 7mm厚鋼製</p> <p>4 網戸</p> <p>5 鋼製建具(標準型鋼製建具を含む)</p>	<p>16 鋼製軽鋼建具(標準型鋼製建具を含む)</p> <p>7 ステンレス製建具</p> <p>8 木製建具</p> <p>9 建具用金物</p> <p>10 自動ドア開閉装置</p> <p>11 自閉式上り引戸装置</p> <p>12 重量シャッター</p> <p>13 軽量シャッター</p> <p>14 オートロック</p> <p>15 ガラス</p> <p>16 ガラス留め材</p>	<p>高気密型ドアの性能の適用 (16.4.2)(16.4.6)(表16.3.1)</p> <p>・適用する (適用箇所は建具表による)</p> <p>高気密型ドアの性能の適用 (16.5.2)(表16.3.1)</p> <p>・適用する (適用箇所は建具表による)</p> <p>外部に面する建具の耐火性能 (16.5.2)(表16.2.1)</p> <p>・S-4 ・S-5 ・S-6</p> <p>表面仕上げ ※H仕上げ・鏡面仕上げ (16.5.4)</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ (16.5.5)</p> <p>かまち戸の仕様 かまち () 鎖錠 () (16.6.2)</p> <p>ふすまの上張り ※新鳥の子又は「二横程度」鳥の子 (表16.6.3)</p> <p>ふすまの縁の仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (表16.6.9)</p> <p>マスターキー ※製作する (木) ・製作しない (16.7.4)</p> <p>鍵札数量 ・錠前1組に2枚とする ・錠前1組に1枚とする</p> <p>(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>開閉方法</th> <th>センサーの種類</th> </tr> <tr> <td>※マイコンタイプ</td> <td>・マイコン</td> </tr> <tr> <td>・マイコン</td> <td>・電子タイプ</td> </tr> <tr> <td>・マイコン</td> <td>・マイコン</td> </tr> <tr> <td>・マイコン</td> <td>・マイコン</td> </tr> <tr> <td>・マイコン</td> <td>・マイコン</td> </tr> <tr> <td>・マイコン</td> <td>・マイコン</td> </tr> </table> <p>凍結防止措置 ※行わない・行う () (16.8.3)</p> <p>※適用する (適用建具及び適用位置は図示による) (16.9.1)</p> <p>***</p> <p>開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (16.10.2)(表16.10.1)</p> <p>危警告止装置 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) (16.10.2)</p> <p>一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (16.10.2)</p> <p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) (16.11.2)</p> <p>***</p> <p>材質 ※塗装溶融面防めつき鋼板又は鋼管 (16.11.3)</p> <p>形状 ※「H」型 ・「U」型 (16.11.4)</p> <p>「H」型等 ※鋼板製 ・ステンレス製(SUS304)(厚さ1.5mm) (表16.11.2)</p> <p>シャッターケース 厚さ(mm) ・0.4 ・0.8 (表16.11.2)</p> <p>(16.12.2)(16.12.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>「H」型</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※「H」型</td> <td>・「H」型</td> <td>・溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・フェン式</td> <td>・「U」型</td> <td>※ステンレス鋼板(SUS304)</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・「H」型</td> <td>・「H」型</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・「H」型</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125 (16.12.2)</p> <p>15 ガラス</p> <p>下記以外は、建具表による (16.13.2)</p> <p>・合わせガラス</p> <p>特性による種類 ※1種</p> <p>強化ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板が「S」による種類</th> <th>特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・70-強化ガラス</td> <td>・熱線吸収ガラス</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・熱線吸収入り型板ガラス</td> </tr> </table> <p>・熱線吸収ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板が「S」による種類</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収70-強化ガラス</td> <td>・ブルー</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収入り型板ガラス</td> <td>・ブルー</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収入り型板ガラス</td> <td>・ブルー</td> </tr> </table> <p>・複層ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>品質</th> <th>断熱性、日射遮蔽性による区分</th> </tr> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td></td> <td>※U3-1 ・U3-2</td> </tr> <tr> <td>・日射遮蔽複層ガラス</td> <td></td> <td>・E4 ・E5</td> </tr> </table> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>反射膜面</th> <th>材料板が「S」の種類</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>※熱線反射ガラス</td> <td>※内面</td> <td>・70-強化ガラス</td> <td>※行わない</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・内面</td> <td>・熱線吸収70-強化ガラス</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・強化ガラス</td> <td>・倍強度ガラス</td> </tr> </table> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板が「S」による種類の名称</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>※70-倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・ブルー</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・ブルー</td> </tr> </table> <p>ガラス留め材 (16.13.2)(表9.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・「H」型</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び軽鋼製</td> <td>※「H」型 (FIX部は「H」型)</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※「H」型</td> </tr> </table> <p>ただし、防火区画等に用いる場合は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。</p>	開閉方法	センサーの種類	※マイコンタイプ	・マイコン	・マイコン	・電子タイプ	・マイコン	・マイコン	・マイコン	・マイコン	・マイコン	・マイコン	・マイコン	・マイコン	セクション材料	開閉方式	収納形式	「H」型	※スチールタイプ	※「H」型	・「H」型	・溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・フェン式	・「U」型	※ステンレス鋼板(SUS304)	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・「H」型	・「H」型			・「H」型		材料板が「S」による種類	特性による種類	・70-強化ガラス	・熱線吸収ガラス	・型板ガラス	・熱線吸収入り型板ガラス	材料板が「S」による種類	色調	・熱線吸収70-強化ガラス	・ブルー	・熱線吸収入り型板ガラス	・ブルー	・熱線吸収入り型板ガラス	・ブルー	品名	品質	断熱性、日射遮蔽性による区分	・断熱複層ガラス		※U3-1 ・U3-2	・日射遮蔽複層ガラス		・E4 ・E5	品名	反射膜面	材料板が「S」の種類	映像調整	※熱線反射ガラス	※内面	・70-強化ガラス	※行わない	・高性能熱線反射ガラス	・内面	・熱線吸収70-強化ガラス	・行う			・強化ガラス	・倍強度ガラス	材料板が「S」による種類の名称	色調	※70-倍強度ガラス		・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー	・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー	建具の種類	材種	アルミニウム製	・「H」型	鋼製及び軽鋼製	※「H」型 (FIX部は「H」型)	ステンレス製	※「H」型	<p>図名 特記仕様書(2)</p> <p>年月日 2012.12.01</p> <p>縮尺</p> <p>図面番号 A-02</p> <p>工事名 ワークセンター川端耐震補強工事</p>
	施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能																																																																																																																																																																																							
	・外壁	※70mm	※15	※1000	・A種	※有り()																																																																																																																																																																																							
	・天井	※70mm	※15	※1000	・B種	無し																																																																																																																																																																																							
	・間仕切り	※70mm	※15	※1000	・B種	無し																																																																																																																																																																																							
	・内装	※70mm	※15	※1000	・C種	有り()																																																																																																																																																																																							
	種類	***	適用																																																																																																																																																																																										
	・押出成形シート板 (無薬系)	※15 ×	※無石棉に換る																																																																																																																																																																																										
	・金属接合板	※12 ×																																																																																																																																																																																											
	種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類																																																																																																																																																																																								
	・S-F2			・シルバー	・非歩行																																																																																																																																																																																								
			・カラー	・軽歩行																																																																																																																																																																																									
種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																											
・X-1		仕上塗料塗り																																																																																																																																																																																											
・X-2		・シルバー																																																																																																																																																																																											
		・カラー																																																																																																																																																																																											
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																																												
工法種別	施工箇所	保証期間																																																																																																																																																																																											
・工法		10年間																																																																																																																																																																																											
・工法		10年間																																																																																																																																																																																											
・工法		10年間																																																																																																																																																																																											
適用タイル	種別	タイル型枠先付け面のせき板																																																																																																																																																																																											
・小口タイル	※タイルシート法	※仕様6.9.3[材料](b)(2)又は金属製																																																																																																																																																																																											
・二丁掛タイル	・目地削工法	タイル先付け用パネル																																																																																																																																																																																											
・大形タイル	・積木法																																																																																																																																																																																												
開閉方法	センサーの種類																																																																																																																																																																																												
※マイコンタイプ	・マイコン																																																																																																																																																																																												
・マイコン	・電子タイプ																																																																																																																																																																																												
・マイコン	・マイコン																																																																																																																																																																																												
・マイコン	・マイコン																																																																																																																																																																																												
・マイコン	・マイコン																																																																																																																																																																																												
・マイコン	・マイコン																																																																																																																																																																																												
セクション材料	開閉方式	収納形式	「H」型																																																																																																																																																																																										
※スチールタイプ	※「H」型	・「H」型	・溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																																																										
・アルミニウムタイプ	・フェン式	・「U」型	※ステンレス鋼板(SUS304)																																																																																																																																																																																										
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・「H」型	・「H」型																																																																																																																																																																																										
		・「H」型																																																																																																																																																																																											
材料板が「S」による種類	特性による種類																																																																																																																																																																																												
・70-強化ガラス	・熱線吸収ガラス																																																																																																																																																																																												
・型板ガラス	・熱線吸収入り型板ガラス																																																																																																																																																																																												
材料板が「S」による種類	色調																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収70-強化ガラス	・ブルー																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収入り型板ガラス	・ブルー																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収入り型板ガラス	・ブルー																																																																																																																																																																																												
品名	品質	断熱性、日射遮蔽性による区分																																																																																																																																																																																											
・断熱複層ガラス		※U3-1 ・U3-2																																																																																																																																																																																											
・日射遮蔽複層ガラス		・E4 ・E5																																																																																																																																																																																											
品名	反射膜面	材料板が「S」の種類	映像調整																																																																																																																																																																																										
※熱線反射ガラス	※内面	・70-強化ガラス	※行わない																																																																																																																																																																																										
・高性能熱線反射ガラス	・内面	・熱線吸収70-強化ガラス	・行う																																																																																																																																																																																										
		・強化ガラス	・倍強度ガラス																																																																																																																																																																																										
材料板が「S」による種類の名称	色調																																																																																																																																																																																												
※70-倍強度ガラス																																																																																																																																																																																													
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー																																																																																																																																																																																												
建具の種類	材種																																																																																																																																																																																												
アルミニウム製	・「H」型																																																																																																																																																																																												
鋼製及び軽鋼製	※「H」型 (FIX部は「H」型)																																																																																																																																																																																												
ステンレス製	※「H」型																																																																																																																																																																																												

16 建築工事	17 カラミツ積み (16.13.5)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">寸法(mm)</th> <th colspan="2">表面形状</th> <th colspan="2">性能等</th> </tr> <tr> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>色調</th> <th>パターン</th> <th>耐火性能</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※クリア</td> <td></td> <td>※無し</td> <td>※無し</td> </tr> </table>	寸法(mm)		表面形状		性能等		呼び寸法	厚さ	色調	パターン	耐火性能	耐火性能			※クリア		※無し	※無し	19 内装工事	8 合成樹脂張り床 (19.4.2)(表19.4.1~表19.4.7)	20 ユニツト	20 耐震スリット	21 ロールスクリーン (20.2.13)	<p>操作方法</p> <p>スライの種類</p> <p>品質等</p>
		寸法(mm)		表面形状		性能等																				
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	耐火性能	耐火性能																					
		※クリア		※無し	※無し																					
18 ガラス用フィルム	9 床用塗料塗り	3 7777777	13 カーテン及びカーテンレール (20.2.14)																							
18 塗装工事	2 表地ごしらえ	<p>※飛散防止フィルム</p> <p>※飛散防止フィルム</p> <p>※飛散防止フィルム</p> <p>※飛散防止フィルム</p>	10 粘着剤	9 粘着剤	4 可動間仕切り	5 移動間仕切り	14 壁紙張り	15 天井点検口	16 床点検口	17 積雪表示板																
		3 塗装業者									10 粘着剤	4 可動間仕切り	5 移動間仕切り	14 壁紙張り	15 天井点検口	16 床点検口	17 積雪表示板									
19 内装工事	2 ニル床シート張り	<p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p>	3 ビニル床タイル張り	14 壁紙張り	6 トイレブース	7 階段滑止め	18 断熱材	21 排水工	22 排水工	23 排水工																
		4 誘導用、注意喚起用床材									3 ビニル床タイル張り	14 壁紙張り	6 トイレブース	7 階段滑止め	18 断熱材	21 排水工	22 排水工	23 排水工								
19 内装工事	5 ニル床タイル張り	<p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p> <p>※熱処理</p>	6 帯電防止床タイル張り	18 断熱材	9 黒板及びホワイトボード	10 ブラインド	20 基本要素品質	21 排水工	22 排水工	23 排水工																
		7 カーペット敷き									6 帯電防止床タイル張り	18 断熱材	9 黒板及びホワイトボード	10 ブラインド	20 基本要素品質	21 排水工	22 排水工	23 排水工								

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include drainage pipes, bedding, and paving materials. Includes detailed specifications for materials like concrete and asphalt.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include site conditions, vegetation, and soil improvement. Includes detailed specifications for soil and vegetation management.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include air quality measurement and environmental technology. Includes detailed specifications for air quality monitoring and environmental measures.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include air quality measurement results and environmental technology. Includes detailed specifications for air quality monitoring and environmental measures.

ワークセンター川端

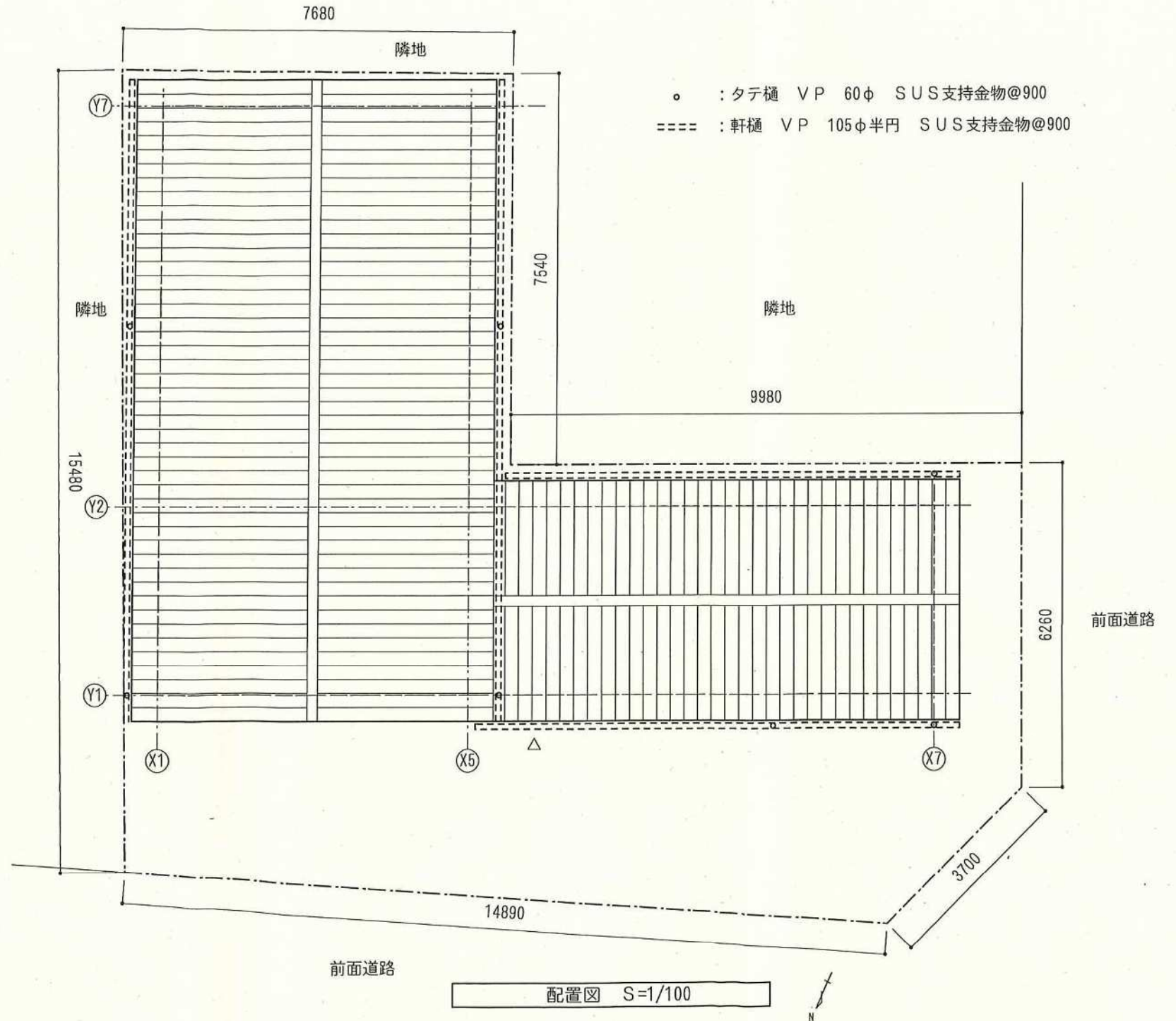
■敷地概要


所在地 : 新潟市中央区川端町5丁目34-2
 用途地域 : 商業地域
 前面道路幅員 : 11 m
 指定建ぺい率 : 80 %
 角地指定加算 : 90 % (+10/100)
 指定容積率 : 600 %
 防火指定 : 準防火地域
 その他指定 : 2 2 条指定
 敷地面積 : 201.81 m²

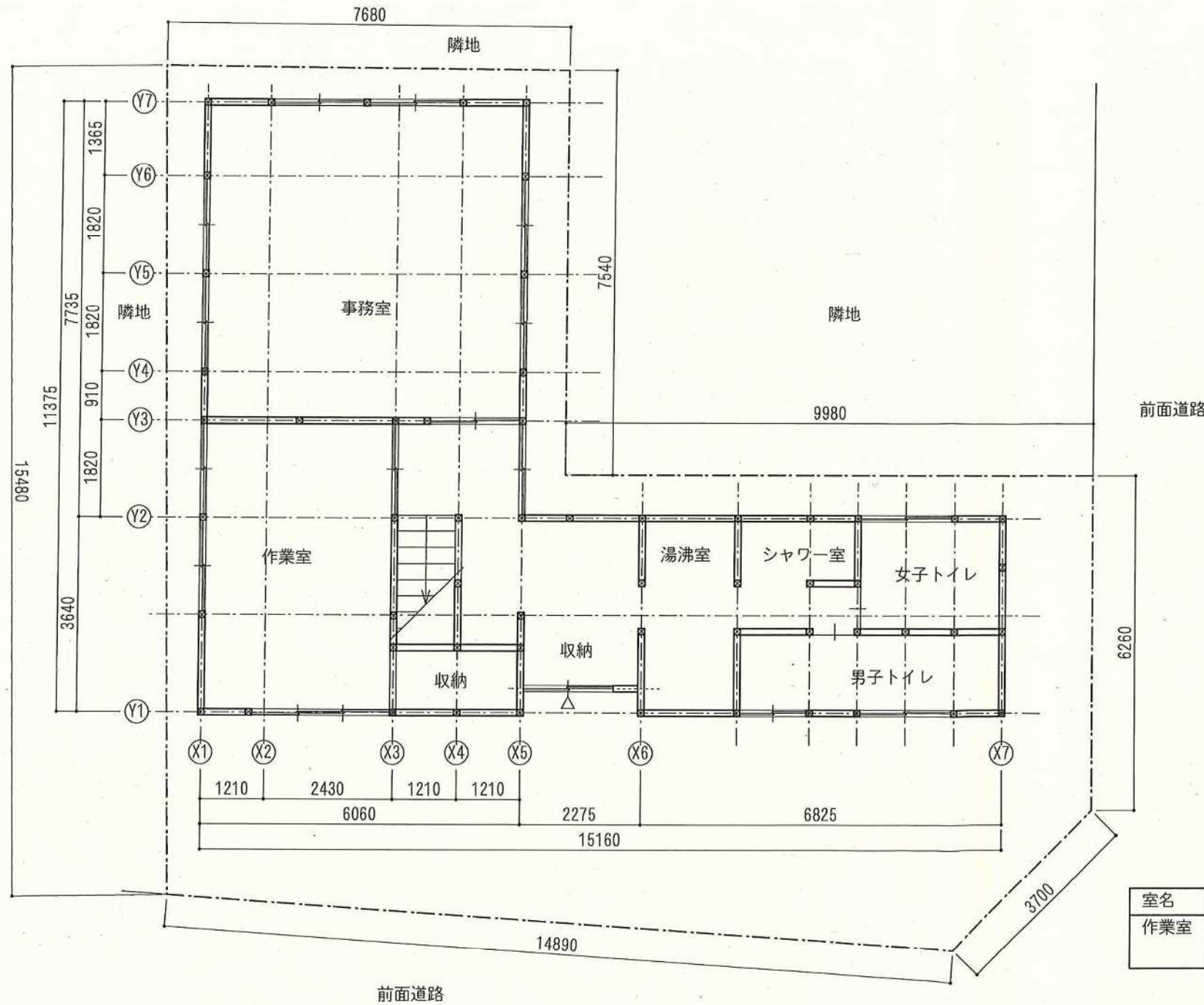
■現況建物

建築面積 : 101.02 m²
 延床面積 : 169.95 m²
 1階 : 101.02 m²
 2階 : 68.93 m²
 建ぺい率 : 50.06 %
 容積率 : 84.21 %

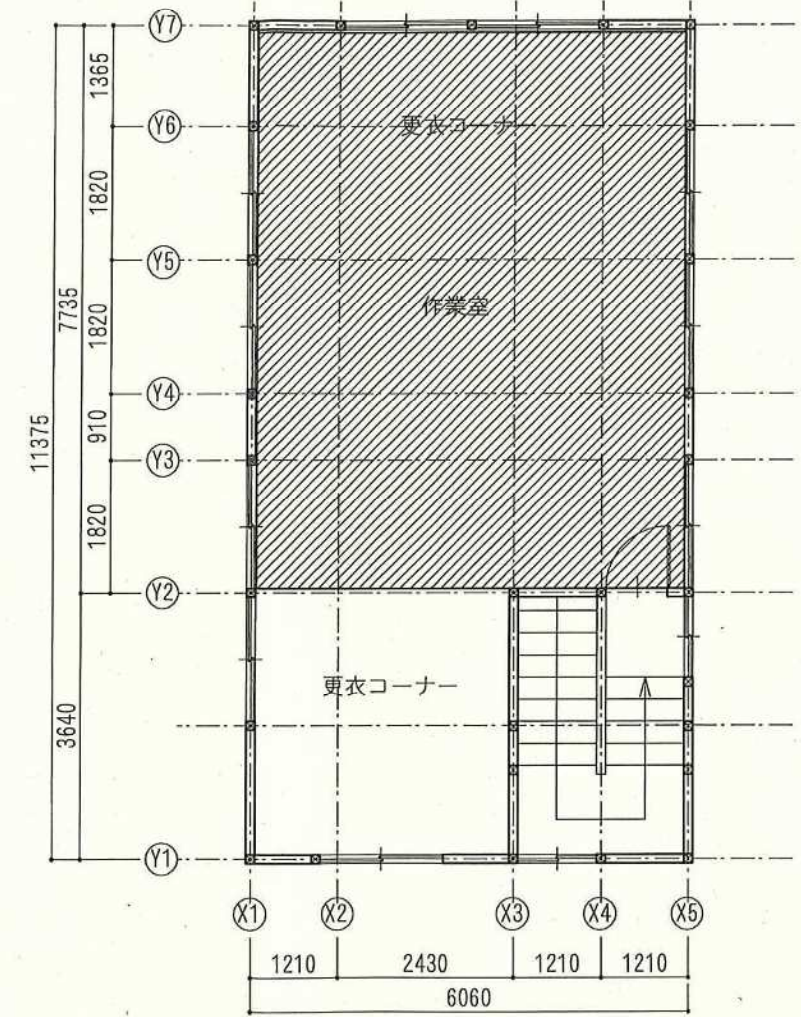
案内図



 : 工事対象範囲 (46.8m²)

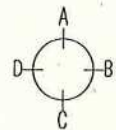


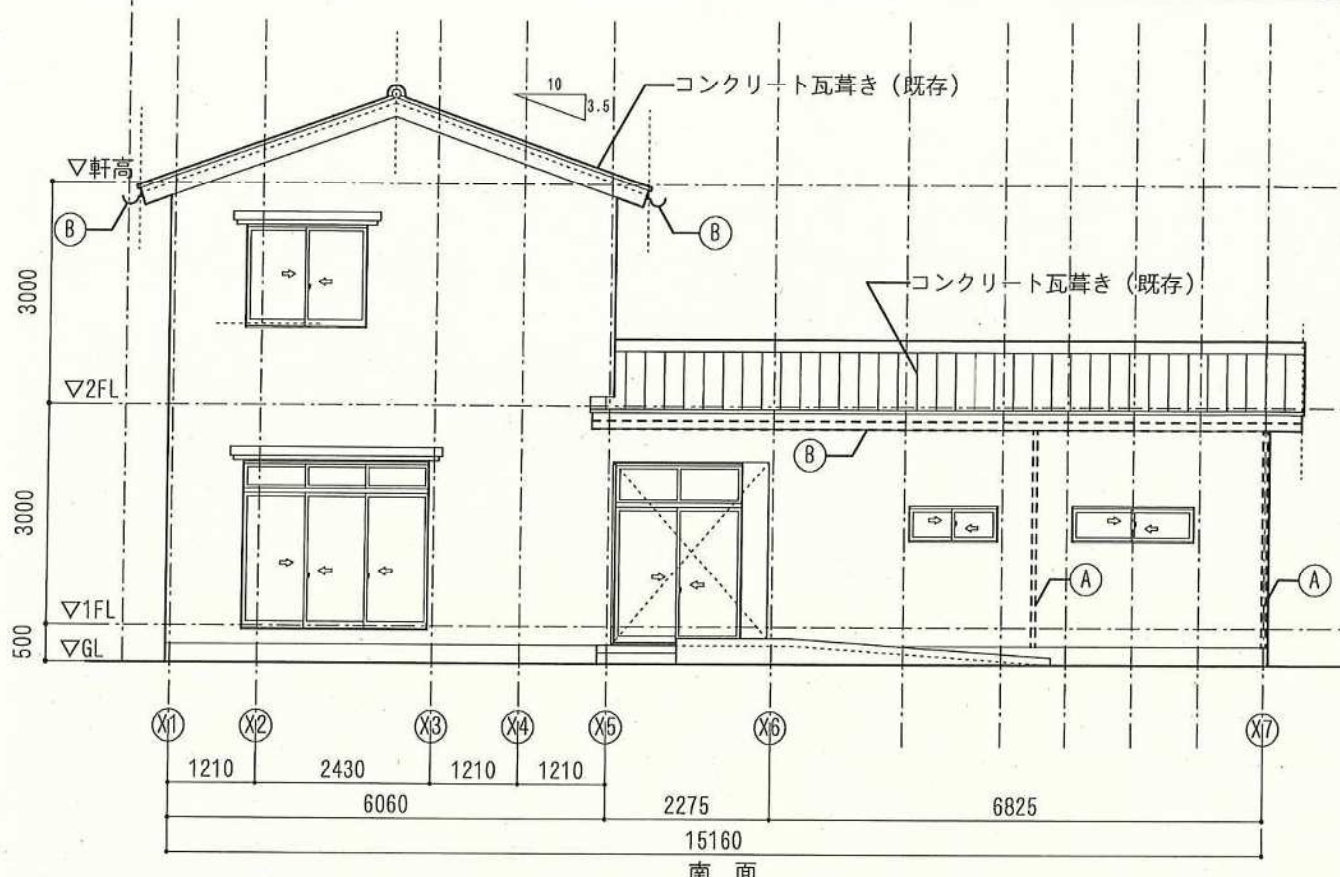
1階概略平面図 S=1/100



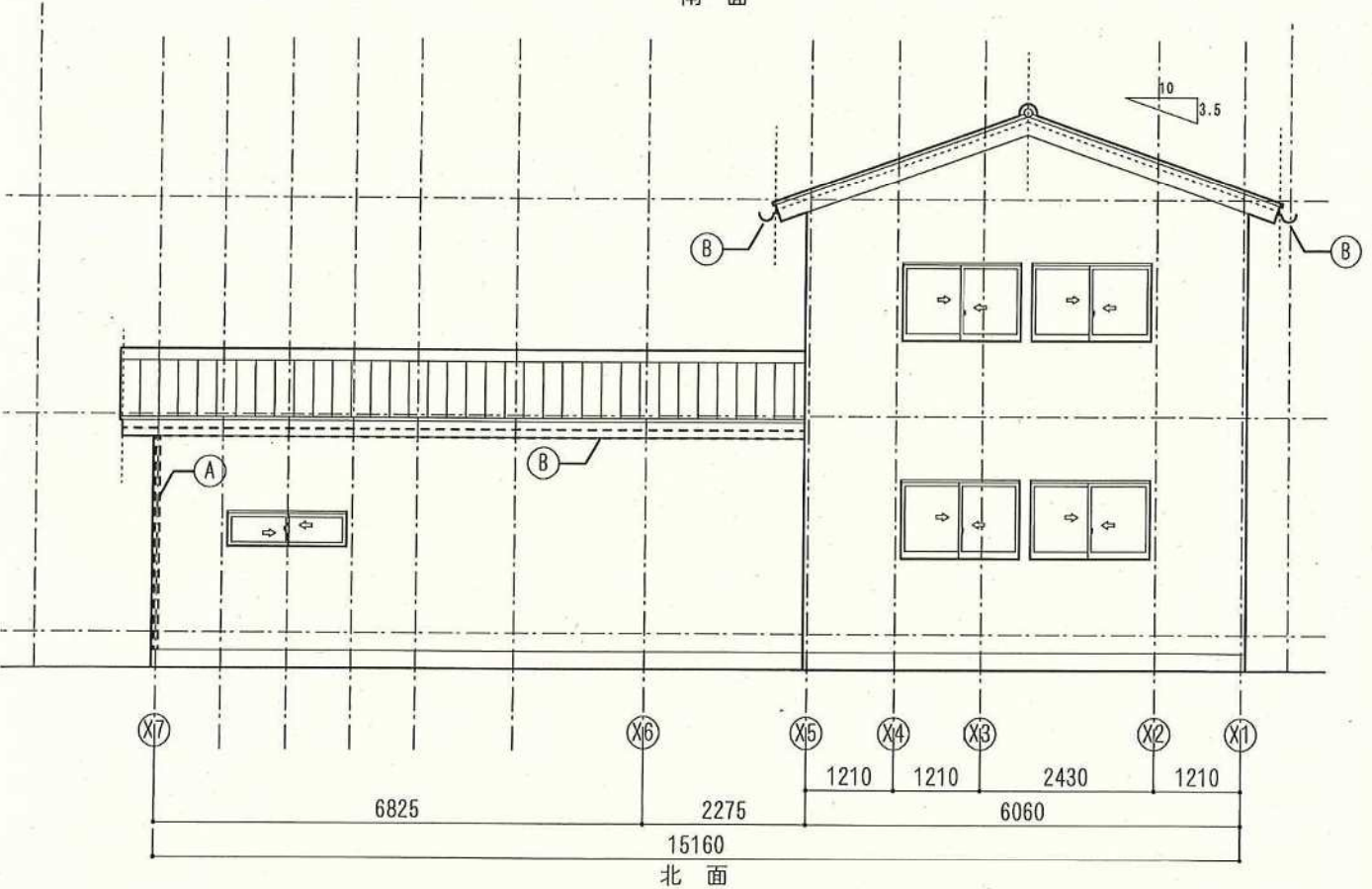
2階概略平面図 S=1/100

室名	床	巾木	壁	天井
作業室	長尺塩ビシート 既存	木製 既存	ビニールクロス貼り (準不燃) 一部張り替え	化粧吸音石こうボードt=9.5 (不燃) 一部張り替え

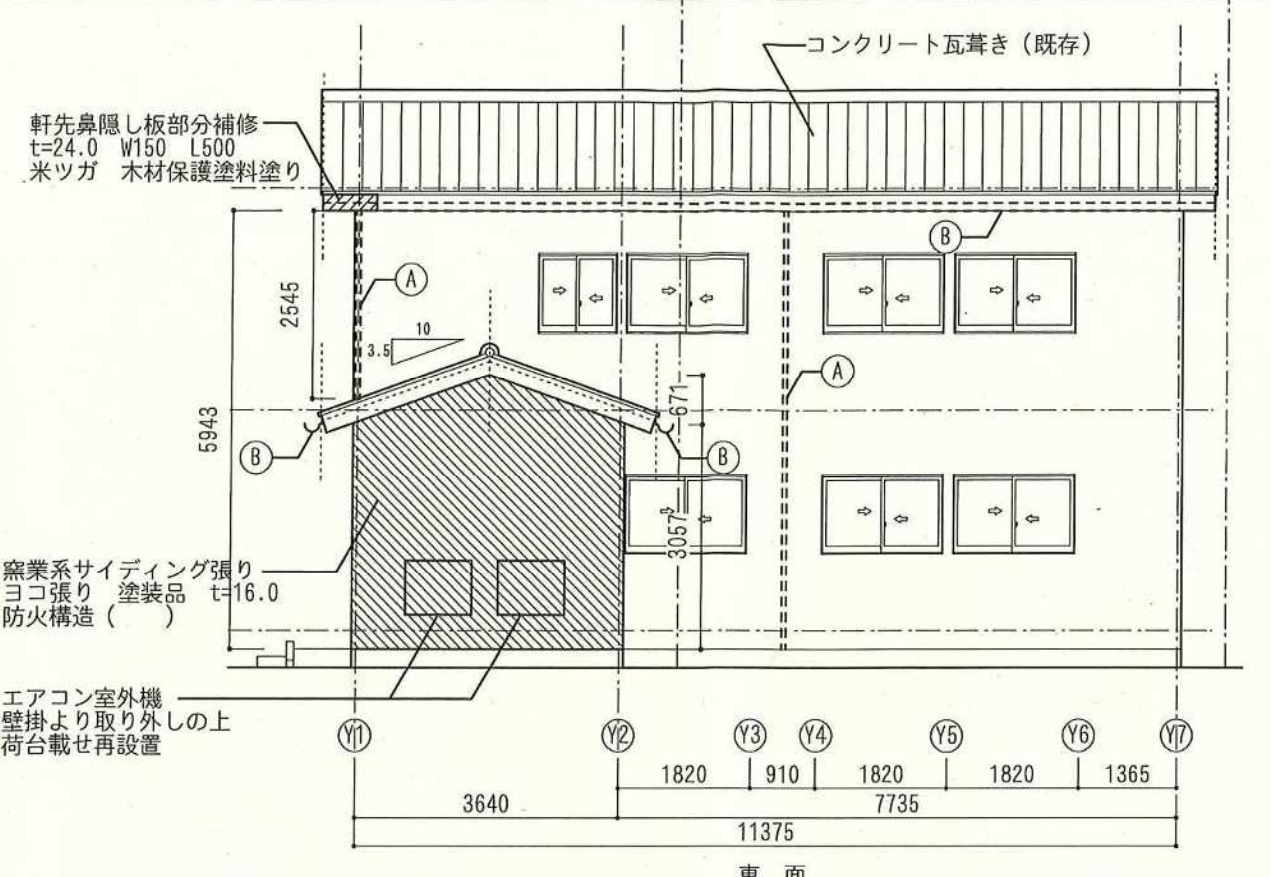




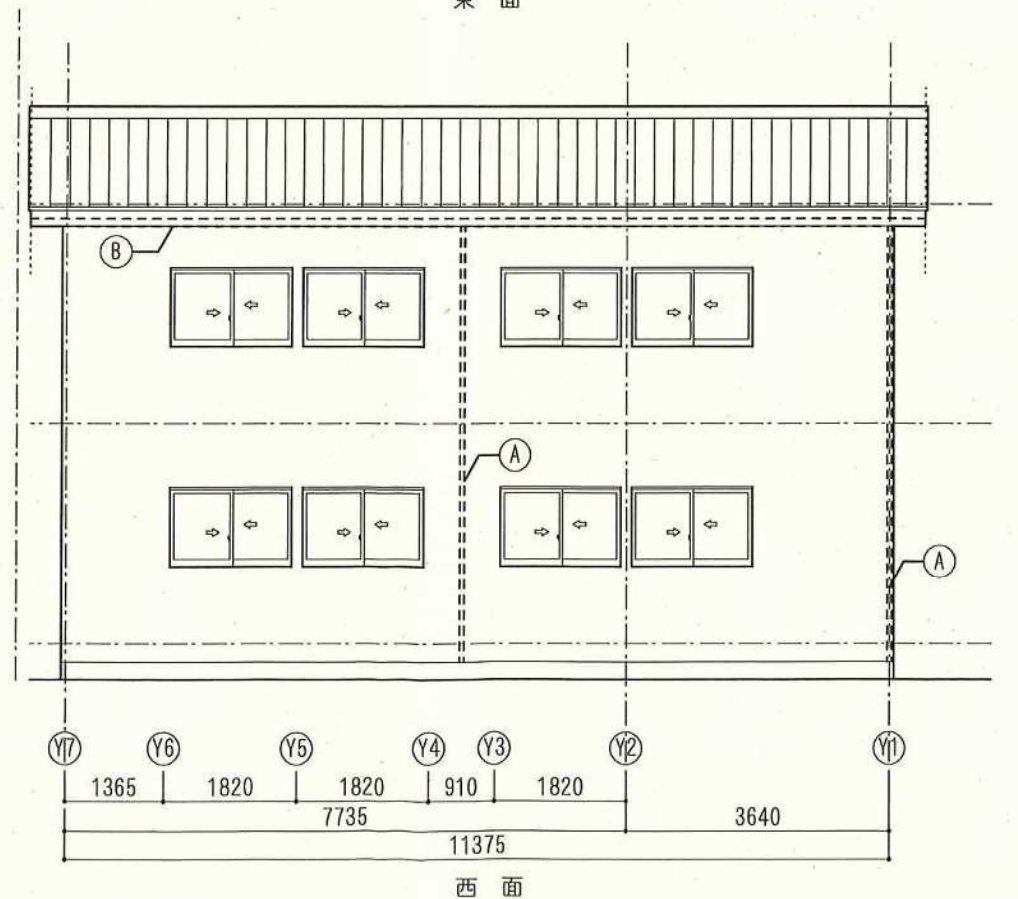
南面



北面

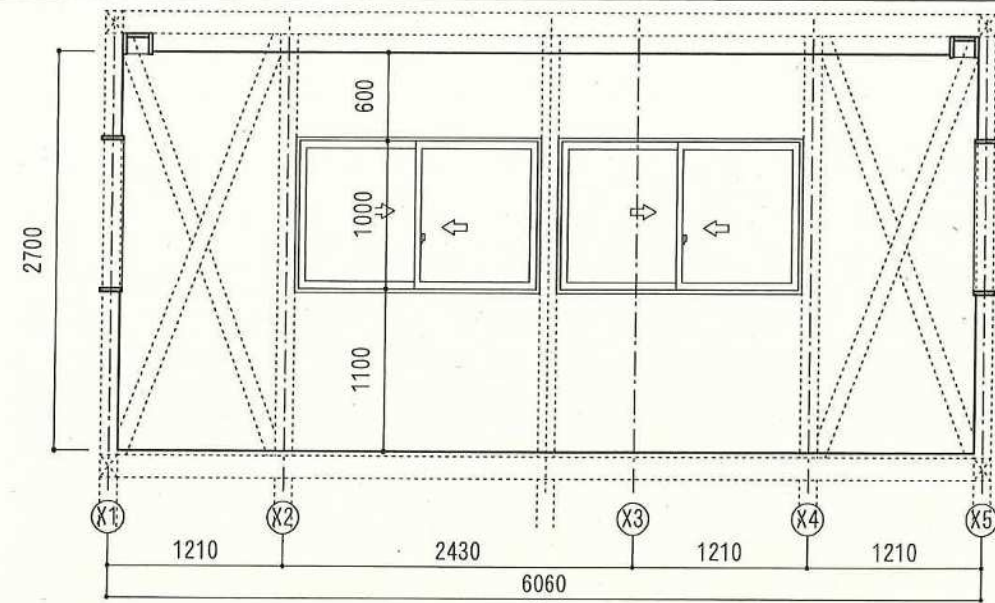



東面

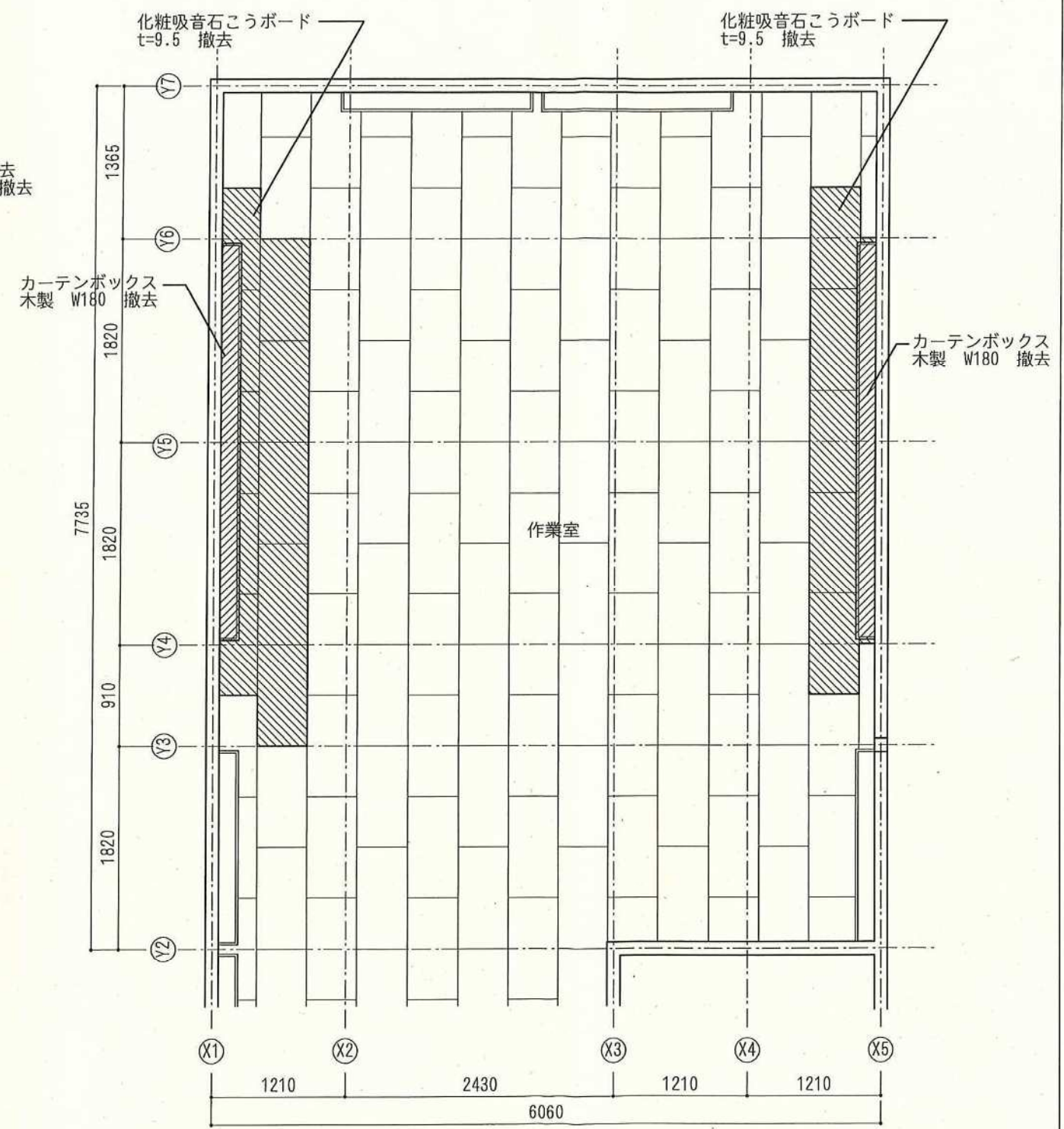
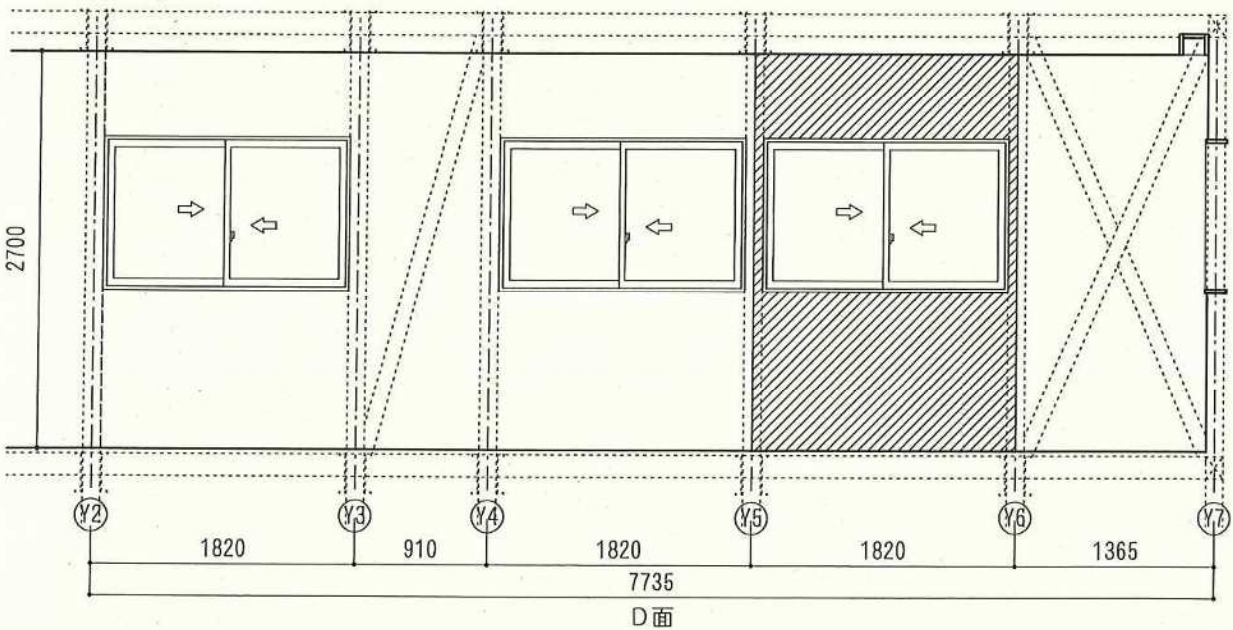
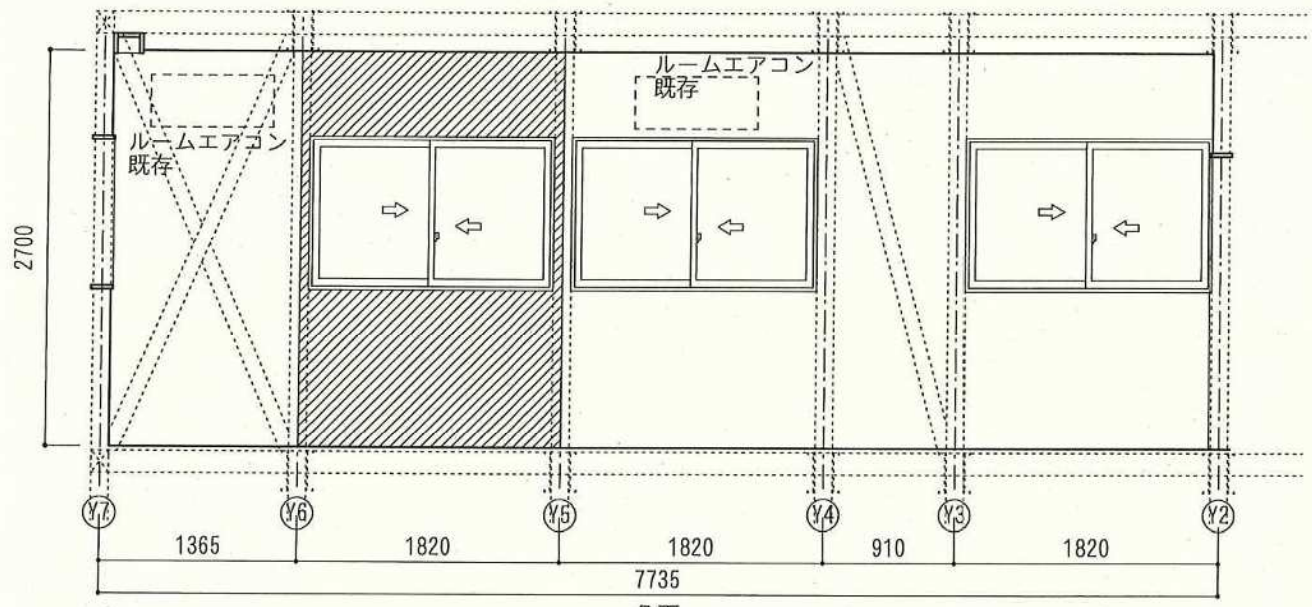


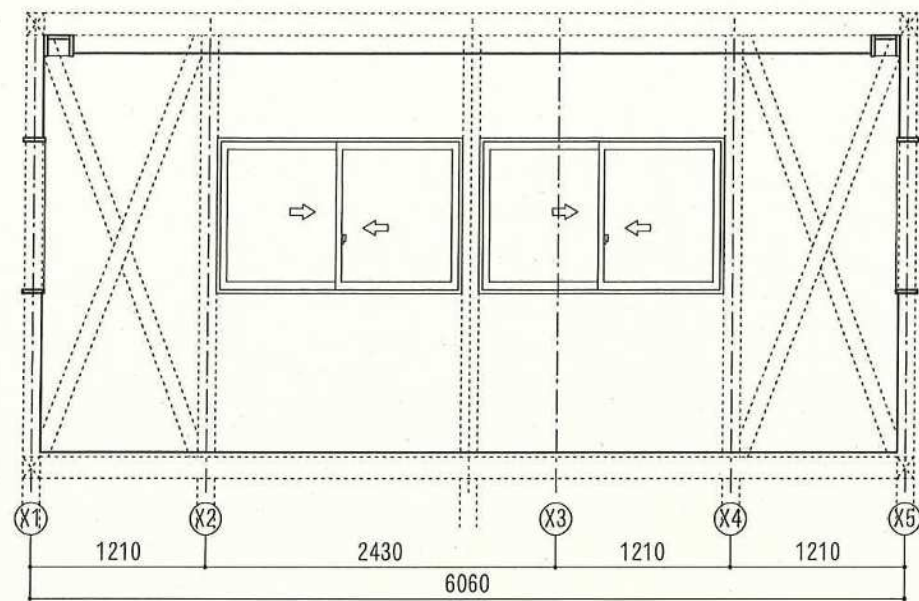
西面

- (A) : タテ樋やり替え
VP 60φ SUS支持金物@900
- (B) : 軒樋やり替え
VP 105φ半円 SUS支持金物@900




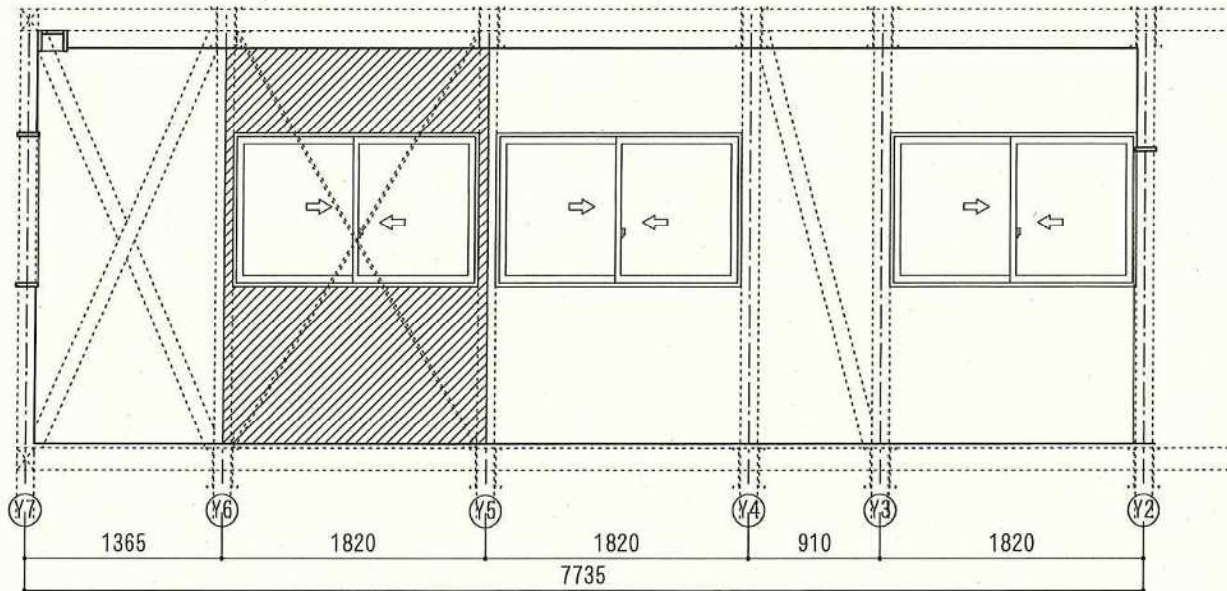
 : ビニールクロス撤去
 下地石膏ボード撤去



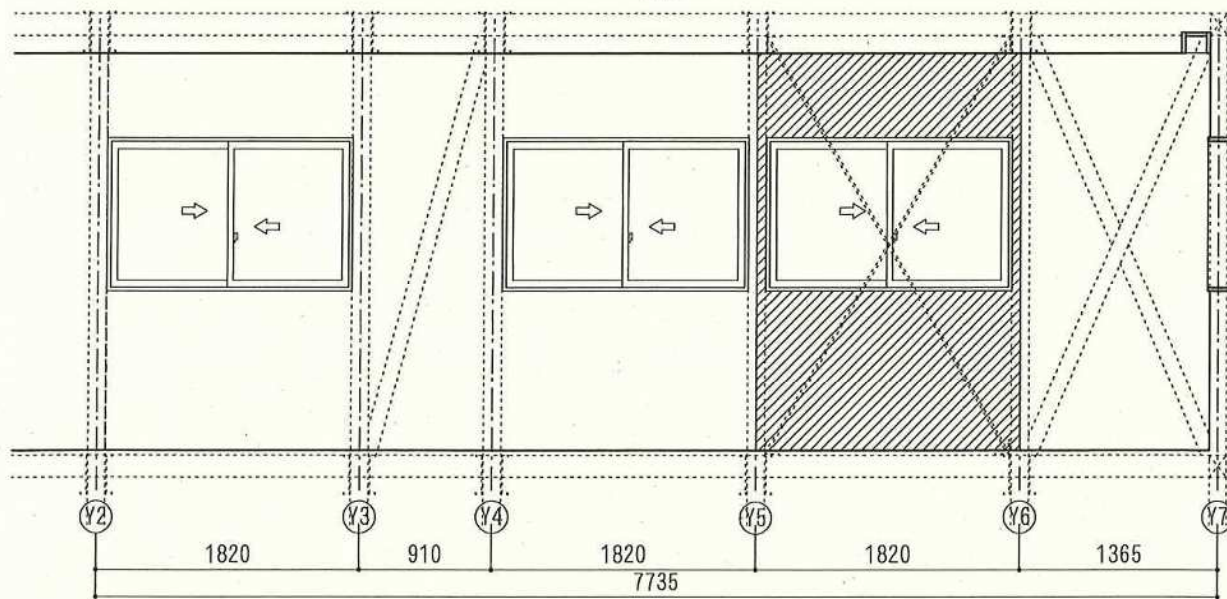


A面

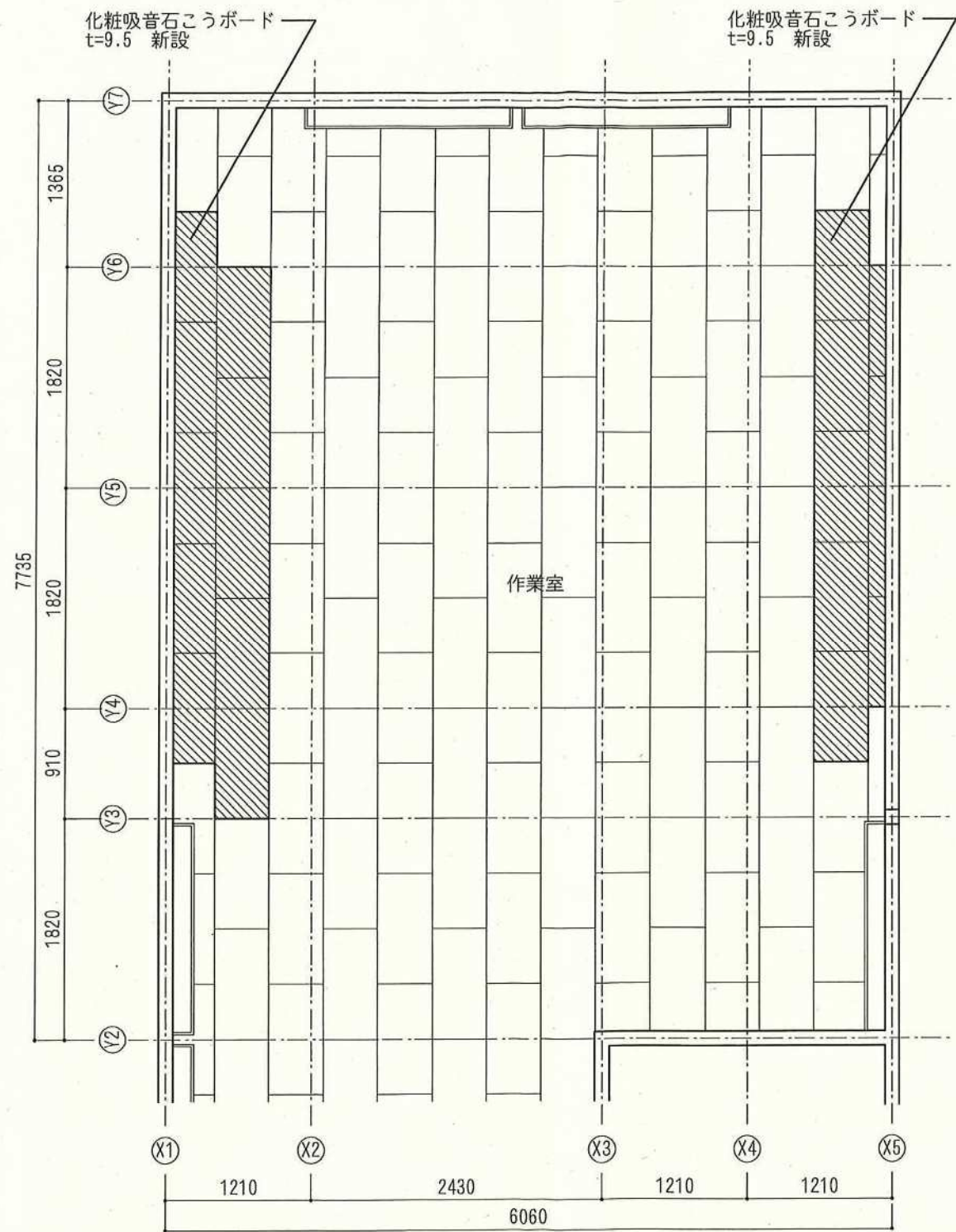
 : 石膏ボード下地 t=12.5
 ビニールクロス貼り 準不燃



B面



D面



木造耐震補強工事特記仕様書(1)

「木標仕」とは、「木造建築工事標準仕様書」の略である。適用は [] を記入する。

1. 工事概要

- 1. 工事名称 ワークセンター川端
2. 建築場所 新潟市中央区川端町5丁目34-2
3. 主要用途 [] 学校 [] 幼稚園 [] 保育園 [] その他
4. 構造種別 [] 木造 [x] 木造+鉄骨造 [] 木造+鉄筋コンクリート造
5. 構造形式 [x] 在来軸組工法 [] 枠組壁工法
6. 既存基礎 [x] 鉄筋コンクリート造 [] 無筋コンクリート造
7. 階数 地上 2階 地下 0階 塔屋 0階
8. 増改築の有無 [x] 有 [] 無
9. 敷地の状況 [x] 平坦地 [] 傾斜地 []
10. 補強の診断方法 [x] 一般診断 [] 精密診断1 [] 精密診断2
11. 本工事の目的

本工事は、上部構造の総合評点が目標の評点以上を確保するため、既存建築物を補強し、なおかつ、外部の劣化部分を補修し、建築物の耐震性の向上を図る事を目的として行う。

目標評点 [x] ≥1.0 [] ≥

工事項目は下記による。

- [] 基礎の補強
[] 筋かいの増設・補強
[x] 開口部のブレース等による補強
[] 構造面材による耐力壁の増設・補強
[] 水平ブレースによる補強
[] 構造面材による屋根の補強
[] 構造面材による床の補強
[] 接合金物の取付
[] 耐震金具の取付
[] 制震金具の取付
[] 屋根の改修
[x] 腐朽部材の取替え

- [] 特殊工法
[x] 無
[] 有

[x] その他の工事 雨樋のやり替え、一部外壁のやり替え

2. 一般事項

- 1. 適用範囲
本特記仕様書は、木造建築物の耐震改修工事の主要な部分に適用する。
2. 設計図書
設計図書等の優先順位は下記の通りとする。
(1) 指示書(現場説明書及び質疑回答書を含む)
(2) 設計図
(3) 本仕様書・標準図
(4) その他

設計図書に記載なきものは、(財)日本建築防災協会の「木造住宅の耐震診断と補強方法」及び「木造住宅の耐震補強の実務」に準ずる。上記に記載なき場合は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版」(以下「標仕」)及び官庁営繕に係る「木造建築工事標準仕様書(平成22年版)」による。上記に記載なき場合は、公共規格またはこれに準ずる規格を適用する。

3. 疑義
疑義が生じた場合や工法の提案を行いたい場合には、監督員または監理者に申し出、その処理方法について協議すること。

4. 現状との相違
改修箇所を解体した後図面と相違した場合は、監督員または監理者に報告し、協議の上その指示に従う。

5. 工事写真
各補強箇所ごとにその状況を記録として写真に残す。

- [x] 解体・撤去箇所着手前
[x] 解体・撤去箇所完了後
[x] 腐朽部材の取替えがある場合にその前後の状況
[x] 筋かい・ブレース及び金物の設置前後
[x] 補強材料及び接合金物の設置前後
[] 耐震金具の設置前後
[] 制震金具の設置前後
[x] 構造用合板・石こうボード類の設置前後
[] 屋根葺き下地及び葺き替え完了の状況
[x] 天井野縁の補強状況
[x] 外装下地及び仕上げ工事前後の状況
[x] 内装仕上げ工事前後の状況
[x] 設備器具等の取り外し、移設の状況
[x] 設備器具等の再取付完了後
[]

撮影はデジタルカメラを使用し、撮影箇所、工事内容の確認が出来るように黒板等で表示して撮影する。

3. 建築材料

1. 木質材料

- (1) 構造用製材
・針葉樹、広葉樹の構造用製材は日本農林規格に準ずること。
・構造用製材の平均含水率は、20%以下とする。
・構造耐力上主要な部分(柱、桁、土台、筋かい等)に使用する樹種は、監督員または監理者の承認を得ること。
(2) 保存処理木材
・腐朽した土台を取り替える場合には、保存処理した木材を用いること。
・保存処理木材は、薬剤を加圧注入処理した木材を用いること。
・保存処理に使用する薬剤は、CUAZ薬剤とし、(社)日本しろあり対策協会または(社)日本木材処理協会の認定品とする。
・加圧注入の処理方法は、(社)日本しろあり対策協会の標準仕様書に準ずる。

- (3) 造作材
・造作材の材面品質の基準は下記の表により、適用は特記による。特記がなければ、A種とする。

Table with 4 columns: 使用箇所, 部材名称, A種, B種. Rows include 生地そのまま又は透明塗料塗りの場合 and 不透明塗料塗りの場合.

(4) 樹種

・樹種は、特記によるほか、下記の表による樹種を標準とする。

Table with 2 columns: 樹種, 下記の樹種を標準とする. Rows include 土台・床束, 軸組, 小屋組, 屋根・床, 鼻隠し・破風板 etc.

上表に記載のない部材については、「木標仕」5章による。

- (2) 構造用集材
・構造用集材は日本農林規格に準ずること。
・構造用集材の平均含水率は、15%以下とする。
・使用する集材の規格及び樹種は、設計者または監理者の承認を得ること。
(3) 構造用合板・構造用パネル
・日本農林規格の製品とし、各等級は下記とする。

Table with 2 columns: 主に強度の基準による等級, 主に耐久性に係る接着の程度による等級. Includes options for 1級, 2級, 特類, 1類, F☆☆☆☆.

- 2. 接合材料
(1) 接合金物
・金物は、図面の指示によるとともに、Zマーク表示金物または(財)日本住宅・木材技術センター性能認定品あるいは(財)建材試験センター等の性能試験を受け、性能表示された製品を使用すること。
・使用する金物は、監督員または監理者の承認を得ること。
(2) 釘等(釘・ビス・ボルト・ドリフトピン・ラクスクリュー・コーナール等)
・釘等は、日本工業規格(JIS)及び(財)日本住宅・木材技術センターの規格に適合したものとし、図面の指示による外、接合金物等の留め付け仕様に適合した製品を使用すること。
・釘の使用に替えてビスを用いる場合には、そのビスが留め付ける材料に対して適合していることを示す書類を監督員または監理者に提示し、その承認を得ること。
・釘の種類、間隔は、本特記仕様書による外図面の指示による。

- (3) あと施工アンカー
・金属系アンカー、接着系アンカー共に(社)日本建築あと施工アンカー協会認定製品とし、その施工にあたっては必要な技能を有する

- 資格者が行うこととする。
・あと施工アンカーと留め付ける製品の性能が一体として保証されているものについては、上記協会の認証製品でなくとも用いることが出来る。
・使用するあと施工アンカーの製品については、あらかじめ設計者または監理者へ書面により提示してその承認を得ること。
・構造上主要な部位以外へのあと施工アンカーについても、使用部位に応じた適切な製品を用いること。

- 3. 鉄筋コンクリート工事
(1) 共通事項
・JASS5「住宅基礎用コンクリート」に準ずる。
・コンクリートの調合、打込み、養生及び品質管理方法は、設計者または監理者の承認を得ること。
・工事現場練りコンクリートを用いる場合は、JASS5「工事現場練りコンクリートの製造」を参考に調合強度を管理する。

- (2) コンクリート
・コンクリートの品質は下記のとおりとする。

Table with 6 columns: コンクリートの種類, 部位, 設計規準強度(FC), 品質規準強度(FC), 気乾単位容積重量, スランプ. Includes options for 普通, 布基礎.

- ・特記なき限りコンクリートの調合は以下を標準とする。
・水セメント比 65%以下 単位水量 185 kg/m³以下
・空気量 4.5% 単位セメント量 270 kg/m³以上

- (2) 鉄筋
・鉄筋の品質は下記のとおりとする。

Table with 5 columns: 材料, 径, 部位, 継ぎ手, その他. Includes options for SD295A, D10~D16, 布基礎.

4. 耐震金具・制震金具・基礎-土台緊結接合具(以下「金具等」と呼ぶ)

- (1) 共通事項
・「金具等」の設置が図面に指示されているときには、その「金具等」の選定にあたり、あらかじめ設計者または監理者と協議すること。
・選定した「金具等」については、その仕様及び取付方法を明示した書面をあらかじめ提出し、設計者または監理者の承認を得ること。
・その「金具等」を扱うことについて必要とされる知識、技能を持つ者がその「金具等」の設置にあたること。
・その「金具等」に付属する部品、指定された用具等以外のものを用いて、その「金具等」の設置を行わないこと。

- (2) 個別事項
・「金具等」の取り扱い、管理に注意事項がある製品の場合には、その注意事項を遵守し、現場の管理に努めること。

4. 耐力壁・間仕切り壁

本工事にあたり、「木標仕」4章並びに5章の各節の規定を適用する他、この特記仕様及び図面の指示による。

- 1. 軸組
(1) 柱
欠損が見られたり、腐朽している柱については、新規の柱と交換する。また、構造上主要な柱で、土台~桁間の内法が3,150を超える柱の断面寸法が115×115mmに満たない柱である時は、その柱を120×120の柱と取り替える。また、内法寸法が3,150以下である柱が、105×105mmに満たない時は、その柱を105×105の柱と取り替える。その場合において、柱と土台・桁との接合については、金物により緊結する。

木造耐震補強工事特記仕様書(2)

「木標仕」とは、「木造建築工事標準仕様書」の略である。適用は [] を記入する。

(2) 間柱
・欠損が見られたり、腐朽している間柱については、新規の間柱と取替える。間柱の寸法は、見付が30ミ、見込みは柱寸法と同じとし、455以内の間隔で設ける。間柱の土台・桁への留め付けは、CN75(太め釘)をそれぞれ2本、斜め打ちとする。
(3) 梁・桁
・筋かいの頂部付近に桁の継ぎ手がある場合には、その継ぎ手部分を金物で補強する。欠損が見られたり、腐朽している桁については、その直下に添え桁を設けた上で、欠損、腐朽している部分を切除し、同種、同寸の新規の材と置き換え、添え桁と金物で緊結する。桁に構造上影響のあるひび割れが見られる場合は、その直下に添え桁を設けた上で、上下の桁を金物で緊結する。また、仕口や継ぎ手が損傷している桁についても同様に措置する。添え桁と柱とは、柱に添え桁を傾ぎ大入れとし、羽子板ボルト等の金物で緊結する。
2. 筋かい
(1) 既存の筋かいの金物取付
・既存の筋かいに割れや欠け、腐朽等がないことを確認し、筋かいの端部と柱及び土台または桁、あるいは柱とを筋かい金物により緊結する。取付箇所・方法は図示による。
(2) 筋かいの増設または取替え
・筋かいの増設または取替え箇所は、図示による。
・筋かいの材料は、米松、特1等材を標準とする。
・断面寸法は、45×90以上とする。
・筋かいの端部と柱及び土台または桁、あるいは柱とを筋かい金物により緊結する。
(3) 筋かい金物
・筋かい金物は、筋かいの断面寸法45×90の端部には「2倍用」の金物を使用する。
・筋かいの断面寸法90×90の端部には「3倍用」の金物を用いるか、筋かいと柱とを六角ボルトM12により緊結する。
・筋かい金物を柱等に留め付ける方法は、金物に付属するビスを所定の本数により留め付ける。
・付属のビスあるいは指定されたビス以外のものを用いてはならない。
3. プレース
・プレースの軸材料は金属系または炭素繊維強化プラスチックとする。
・プレースは交差する2本の軸材を2本の柱及び土台・桁の交点に金物を介して接合すること。
・プレースの軸材及び接合金物は、国土交通大臣認定を受けた製品を用いること。
・プレース接合部の柱及び土台には、柱又は土台を基礎と緊結する接合金物が必要な場合には、緊結に適合した金物等を用いること。
・接合金物等は、次項に示す認定・試験等の評価を受けた製品とする。
・プレースを設置する際には、軸材にゆりみを生じないように施工し、所期の耐力性能が発揮出来るようにすること。
・この他図面の指示による。
4. 構造用面材による耐力壁
・面材は、構造用合板を使用する。
・構造用合板は、土台～桁まで張り付ける。
・構造用合板は、厚さ12ミ、特類・2級とする。
・合板の縦・横の寸法は図面の指示による。
・構造用合板の留め付けには、CN65(太め釘)を用い、柱・土台・桁または合板継ぎ手受け材に、@100ミ以内で直に留め付ける。
・合板の継ぎ手位置以外の間柱には、@200ミ以内で直に留め付ける。
・合板を留め付ける釘の打ち方については、合板の表面に釘頭がめり込まないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。
・合板の外周部の土台・桁へのかかりしろは、各60ミ以上とする。
・柱への合板のかかりしろは、50ミ以上とする。
・継ぎ手位置の間柱及び中間高さの継ぎ手受け材へのかかりしろは、20ミ以上とする。

・合板の外周における釘打ちの縁端距離は、10ミ以上を確保する。
・間柱の間隔が500ミに満たない場合には、この間隔内に適宜間柱を増設すること。
・この他図面の指示による。
・間柱の間隔が500ミに満たない場合には、この間隔内に適宜間柱を増設すること。
・この他図面の指示による。
5. 構造用面材による間仕切り壁の補強
(1) 床～天井の構造用合板張り
・面材は、構造用合板を使用する。
・構造用合板は、厚さ9ミ、特類・2級とする。
・合板の縦・横の寸法は図面の指示による。
・構造用合板の留め付けには、CN50(太め釘)を用い、柱・土台・桁・合板継ぎ手受け材または間柱に、@150ミ以内で直に留め付ける。
・合板を留め付ける釘の打ち方については、合板の表面に釘頭がめり込まないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。
・合板の外周部の土台・桁へのかかりしろは、各60ミ以上とする。
・柱への合板のかかりしろは、50ミ以上とする。
・継ぎ手位置の間柱及び中間高さの継ぎ手受け材へのかかりしろは、20ミ以上とする。
・合板の外周における釘打ちの縁端距離は、10ミ以上を確保する。
・間柱の間隔が500ミに満たない場合には、この間隔内に適宜間柱を増設すること。
・この他図面の指示による。
(2) 床～天井の石こうボード張り
・面材は、石こうボード(GB-R)を使用する。
・石こうボードは、JIS A6901-2005に定める、厚さ12.5ミの製品とする。
・石こうボードの縦・横の寸法は、1,820×910を標準とする。
・石こうボードの留め付けには、GNF40釘、またはGNC40釘を用いて柱、間柱に、@200ミ以内で直に留め付ける。
・石こうボードの留め付けには、原則ビスを用いてはならないが、国交大臣認定を取得したビスに限り、材料検査を受けた上で使用できる。
・石こうボードを留め付ける釘の打ち方については、石こうボードの表面紙を破らないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。
・ビスを用いて留め付ける場合には、柱、間柱に@150ミ以内で留め付け、ビス頭がめり込まないように留め付ける。
・間柱の間隔が500ミに満たない場合には、この間隔内に適宜間柱を増設すること。
・構造用合板の上に、仕上げ下地として用いる場合は上記の限りでない。
・この他図面の指示による。

5. 基礎
・既存の基礎にひび割れがある場合には、エポキシ樹脂等により充填し、補修する。
・上記の場合に、必要があるときは監理者と協議の上、基礎仕上げモルタルをはがし、コンクリートの一部をはつり、補修を行う。
・モルタルをはがした場合には、モルタル塗りにて補修をする。
・あと施工アンカーを施工する場合には、必要な技能を有する資格者が行うこと。
・あと施工アンカーの施工要領は、メーカーの取り扱い説明書に拠る。
・掘削孔にコンクリートの粉等が残らないように丁寧に清掃する。
・アンカーを打ち込んだ後、所定の日数を経過した上で金物、鉄筋等を取り付けること。
・基礎に関して問題等が発見された場合には、監理者と協議の上、補修等を行う。
・この他図面の指示による。

6. 屋根・床・水平構面
1. 屋根の下張り面材
・屋根の下張り面材には、構造用合板を使用する。
・構造用合板は、厚さ12ミ、特類・2級とする。
・合板の縦・横の寸法は、910×1,820を標準とする。
・構造用合板の留め付けには、CN50(太め釘)を用い、垂木に対し合板の長手を直交させ、@150ミ以内に留め付ける。
・垂木と平行の継ぎ手が芋目地にならないように、隣接する合板とは910ミずらして、軒先側から千鳥張りとする。
・合板を留め付ける釘の打ち方については、合板の表面に釘頭がめり込まないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。
・合板の外周部の垂木へのかかりしろは、20ミ以上とする。
・合板の外周における釘打ちの縁端距離は、10ミ以上を確保する。
2. 床の下張り面材
・床下地の下張り面材には、構造用合板を使用する。
・構造用合板は、さね加工した厚さ15ミ、特類・2級とする。
・合板の縦・横の寸法は、910×1,820を標準とする。
・構造用合板の留め付けには、CN65(太め釘)を用い、根太に対し合板の長手を直交させ、@150ミ以内に留め付ける。
・根太と平行の継ぎ手が芋目地にならないように、隣接する合板とは910ミずらして、千鳥張りとする。
・合板を留め付ける釘の打ち方については、合板の表面に釘頭がめり込まないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。
・合板の外周部の垂木へのかかりしろは、20ミ以上とする。
・合板の外周における釘打ちの縁端距離は、10ミ以上を確保する。

7. 天井取付設備の取付部の補強
1. 扇風機取付部の補強
・扇風機取付部の天井吊り木の状況を確認し、斜材等により補強を行う。
・天井野縁と吊り木受けの間で、野縁と同程度の木材を使用し、斜めに取り付けることにより、振れ止めとする。
・斜材による振れ止めは、左右1対を各2箇所において天井野縁に取り付ける。
・斜材を野縁、吊り木受け材等に取り付けるには、CN75釘を使用する。
・斜材の長さに応じて、その中間において斜材どうしを水平に貫板等により補強する。
・その他、監理者の指示により施工する。

8. その他
・諸官庁への届け出が必要な場合には、遅滞なく提出すること。
・居ながらの補強工事になるので、建物利用者の生活動線に十分配慮し、現場の整理整頓を行い、なおかつ安全に努めること。
・仮囲いや養生をしっかりと行い、工事中の撤去部材や納入部材、工具等の保管に努め、また、部材等の飛散防止措置を執ること。
・各部の解体撤去・補強工事において、既存の配管、配線及び器具等に損傷を与えないよう十分注意すること。
■ アスベスト
・天井に使われているロックウール吸音板やフレキシブルボード類、外壁に使われている窯業系サイディング等、アスベストを含むとされる製品を取り外すときには十分注意し、その処分については法令に従って取り扱うこと。
・アスベスト含有建材、およびアスベスト含有吹き付け材の処理、除去にあたっては、「国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事)平成22年版(以下「改標仕」)9章に拠る。
・「特記仕様書(4)」25 アスベスト含有建設資材に関する特記事項に拠る。
・その他、監督員の指示によること。
■ 室内空気有機化学物質低減対策
・「特記仕様書(4)」24 室内空気有機化学物質低減対策に拠る。
・接着系あと施工アンカー、基礎接合・ひび割れ補修等の工事に使用する接着剤については、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを含有しないか、トルエン等の含有量がきわめて少ない規格品とする。
・土台等に使用する防腐・防蟻薬剤処理材は、工場にて加圧注入処理した材とし、十分乾燥した上で現場に搬入すること。
・室内で使用する接着剤については、ホルムアルデヒドの規制について、F☆☆☆☆の製品とする。
・その他、室内での接着剤の扱いについて、使用後は蓋等で密閉し、臭気の漏れを最小限にするよう努めること。
・強い臭気が漏れると予想される場合には、施工時に換気装置を使用して速やかに臭気を外部へ放出すること。
・施工後の換気についても、気候条件等を配慮しながら室内環境を良好に保つよう行うこと。

木造耐震補強工事標準図 (1)

「木造仕」とは、「木造建築工事標準仕様書」の略である。
適用は を記入する。

1. 筋かい

筋かい (木材)

(1) 断面寸法 45×90 の筋かい

- 筋かいの接合金物等は特記仕様書による外、構造標準図に拠ること。
- 筋かいを増設する場合は、筋かいの樹種を米松特一等材を標準とする。
- 増設する筋かいは、見付け平使いにする。
- 筋かいは、間柱に欠き込みを入れ、筋かいから間柱へCN75釘2本打ちとする。

(2) 断面寸法 90×90 の筋かい たすき掛け

- 筋かいの接合金物等は、特記仕様書及び標準図に拠ること。
- 筋かいの樹種及び等級は、米松特一等材を標準とする。
- 一方の筋かいは、他方の筋かいに傾ぎ大入れとする。(15mm)
- 傾ぎ大入れとした筋かいの端部を、一方の筋かいをまたいで短冊金物で緊結する。

2. ブレース

1. ブレース

(1) 国土交通大臣認定製品

- ブレースは、一対のたすき掛けとして設置すること。
- ブレースの施工は、メーカーの施工技術要領に拠ること。
- 柱と桁及び土台の接合について、施工技術要領に指示がある場合には、その指示により接合箇所の補強を行うこと。
- ブレースと交差する間柱・窓台・まぐさには、欠き込みを入れ、木部とブレースとの間にはクリアランスを設ける。
- ブレースの取付後にゆるみがないことを確認し、次の工程に移る前に監理者の承認を得ること。

・桁が2段ある場合の取付。

3. 構造用面材による耐力壁

1. 構造用合板張り耐力壁

- 構造用合板の仕様及び施工方法については、特記仕様書による。
- 構造用合板の縦・横の寸法は、910×1,820を標準とする。
- 構造用合板の横方向の継ぎ手が間柱であるときは、間柱の見付け幅を40mm以上とする。
- 構造用合板の縦方向の継ぎ手受け材は、見付け90mm、見込み45mmとする。
- 構造用合板の継ぎ手受け材取付には、既存の筋かいや新設する筋かいを優先し、決して筋かいを欠くことのないようにする。
- 合板を留め付ける釘の打ち方については、合板の表面に釘頭がめり込まないように釘打ち機の圧力を適宜調整すること。

- 合板の外周における釘打ちの縁端距離は、10mm以上15mm程度とする。
- 合板の継ぎ手部は、合板を突き付けにし、クリアランスを設けない。
- 合板に開口を設ける場合は合板の外周部を避け、最大で300×300以内とする。
- 合板の外周部を欠く場合には、合板の継ぎ手部に上図のような受け材を設けて隅角部には釘打ちを細かくする。

4. 耐震金具・制震金具

1. 耐震金具

- 使用する耐震金具は、(財)日本建築防災協会の住宅等防災技術評価を受けた製品を標準とする。
- 使用する耐震金具については、監督員または監理者の承認を得ること。
- 耐震金具の取付については、メーカーの施工要領書の指示に拠ること。

【製造メーカー】

- セフティホームエンジニアリング(株)
- (株)北栄建設
- (株)JSP建築土木資材カンパニー

- 取付について、他の部材等との干渉がある場合には、その取付について監理者の指示を受けること。

2. 制震金具

- 使用する制震金具は、油圧型ダンパー機構による木造建築物の制震に対応した製品とする。
- 使用する制震金具については、監督員または監理者の承認を得ること。
- 制震金具の取付については、メーカーの施工要領書の指示に拠ること。

【製造メーカー】

- (株)オーディーエム
- (株)ハウジング・ソリューションズ
- (株)トキワシステム

- 制震金具は、開口部の上部の桁と、開口部の両側の柱との接合部に2箇所一対で取り付けることとする。
- 取付について、他の部材等との干渉がある場合には、その取付について監理者の指示を受けること。

木造耐震補強工事標準図 (2)

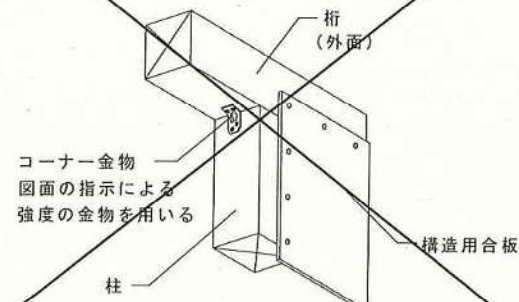
「木標仕」とは、「木造建築工事標準仕様書」の略である。
適用は を記入する。

1. 筋かい接合部金物等標準図

1. 接合金物の取付標準図

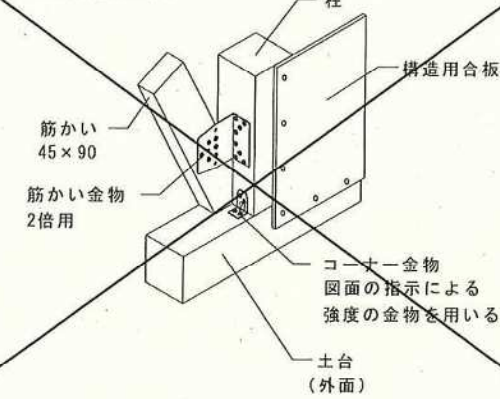
(1) 筋かいの取り付けがない柱

・柱～桁の接合金物

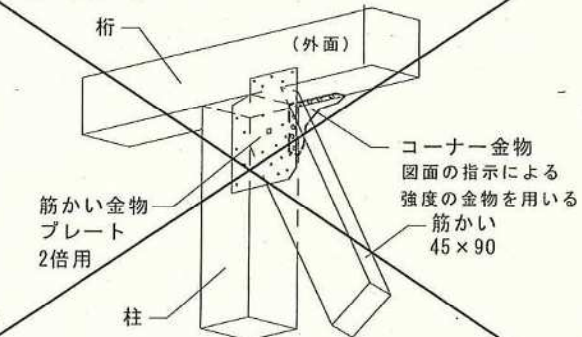


(2) 筋かいの取り付け柱

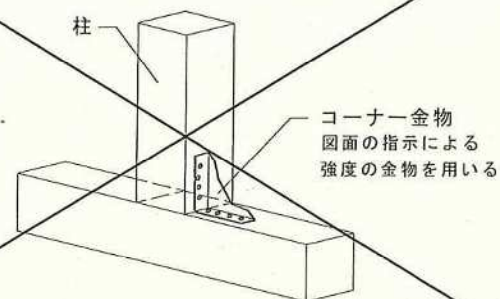
柱～土台の接合金物



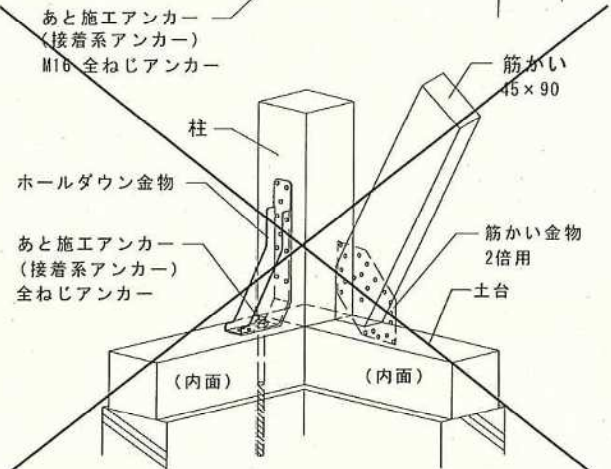
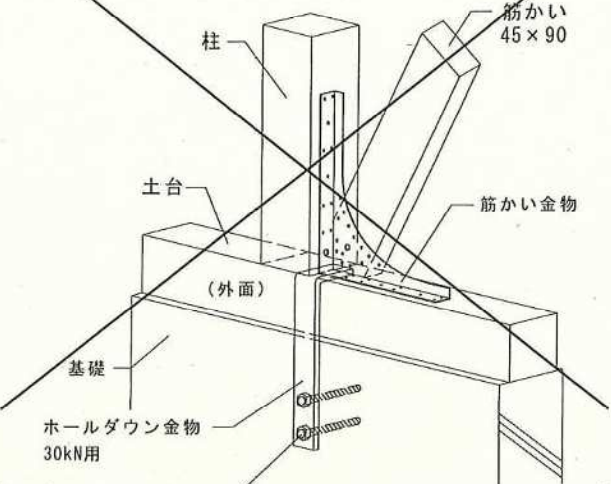
柱～桁の接合金物



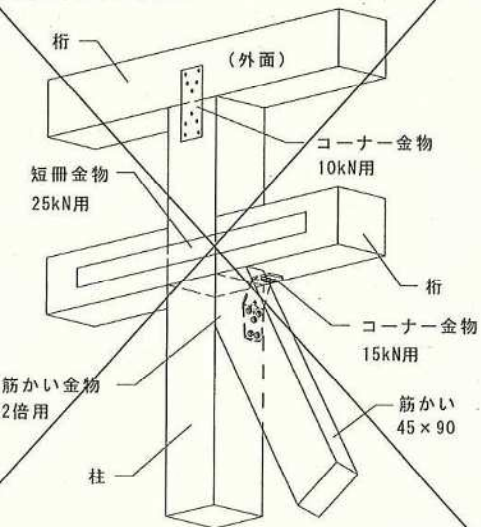
・筋かいの取り付け柱の柱脚部
柱～土台の接合金物 15kN用



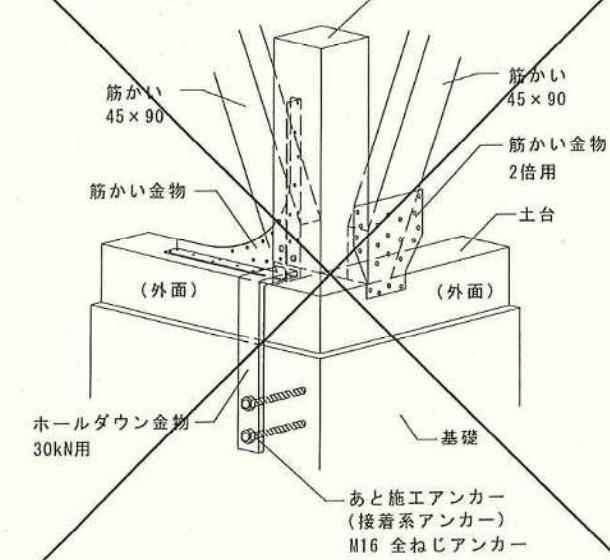
・タスキ掛け筋かいの取り付け柱の柱脚部
柱～土台の接合金物 30kN用



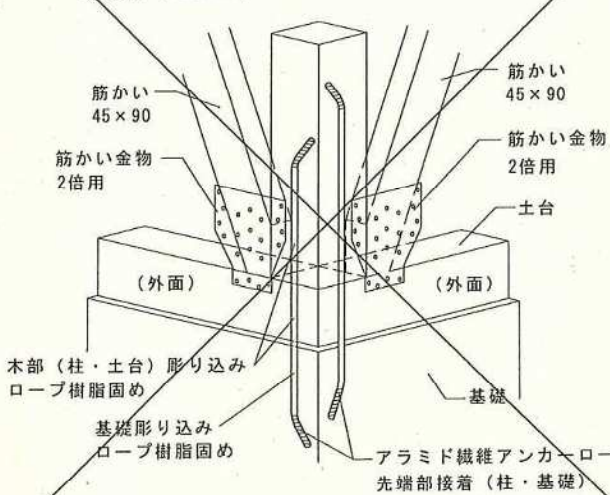
柱～桁の接合金物
桁が2重になっている箇所



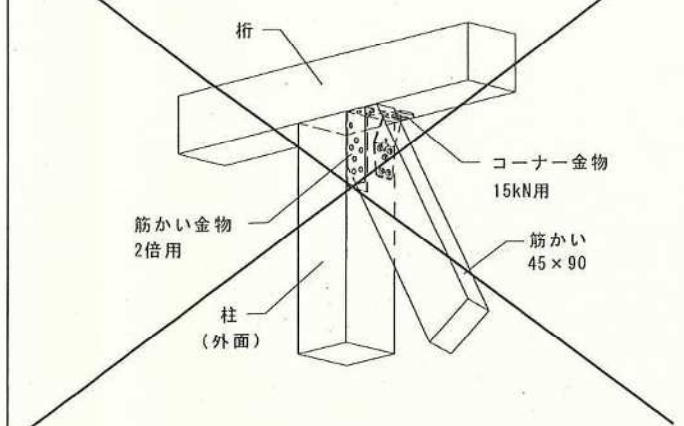
・出隅部の柱～土台の接合金物
金物による接合



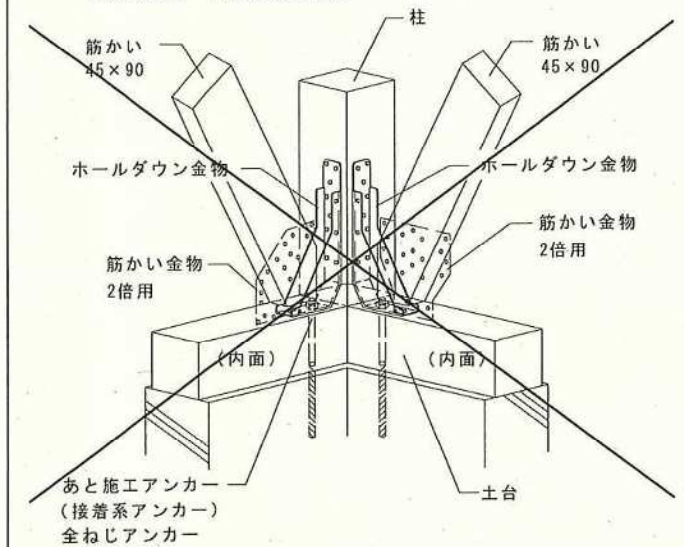
ロープによる接合
2本使用 (15kN×2)



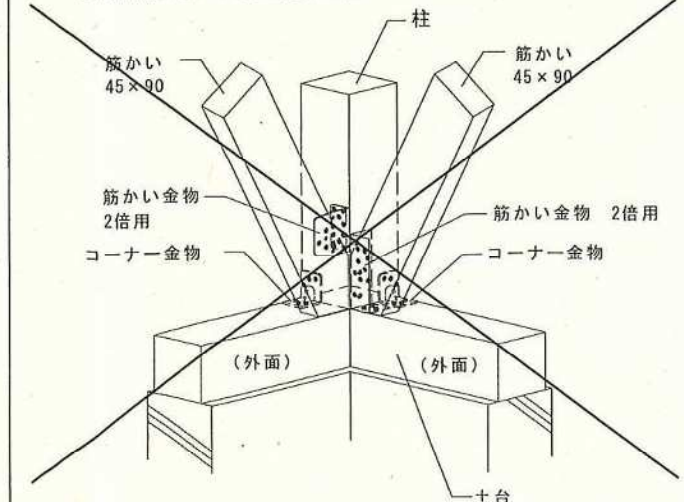
(3) 筋かい(新設)の取り付け柱
柱～桁の接合金物



・出隅部の柱～土台の接合金物



・入り隅部の柱～土台の接合金物



工事名

ワークセンター川端耐震補強工事

図名

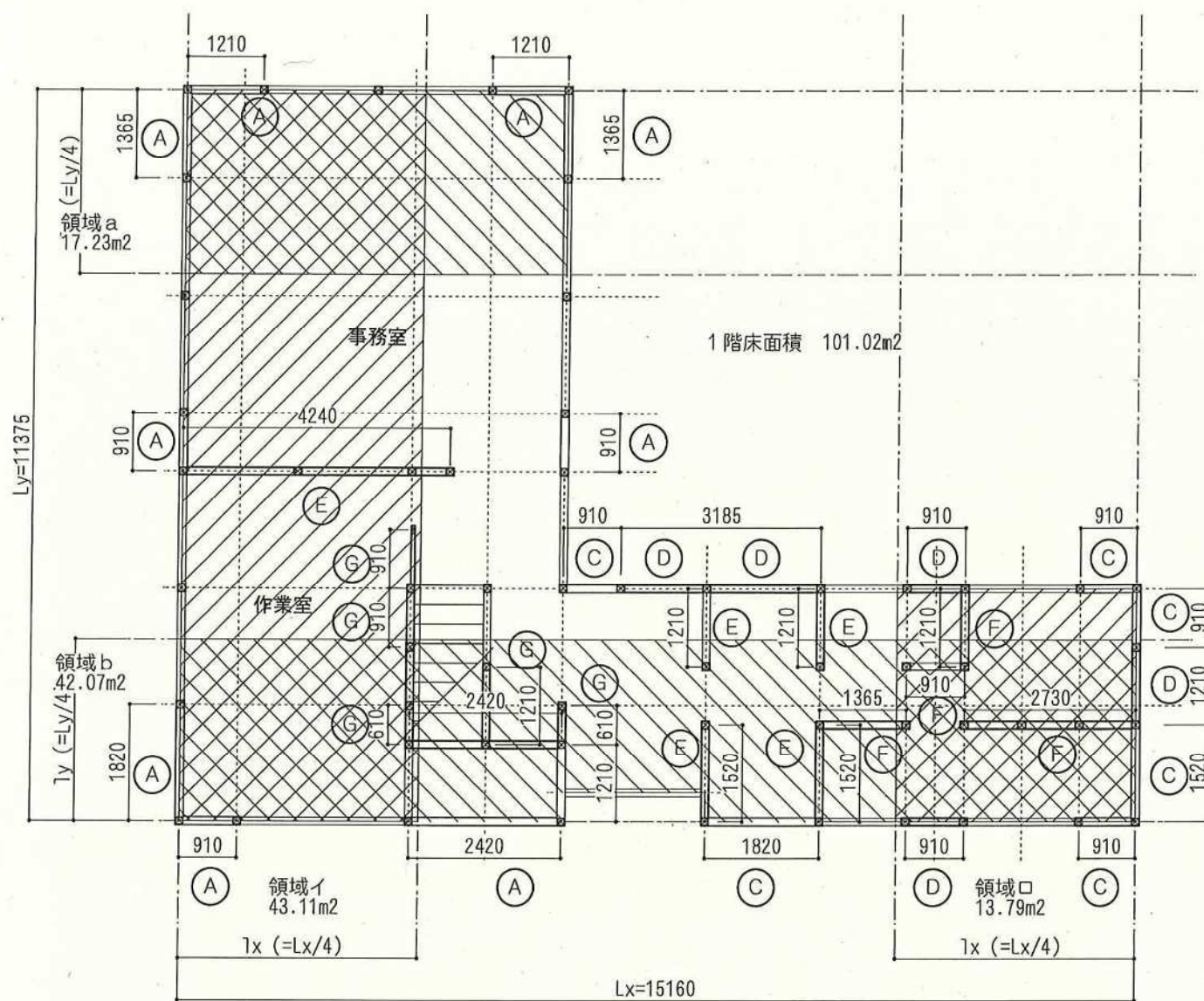
木造耐震補強工事標準図(2)

年月日 2012.12.01

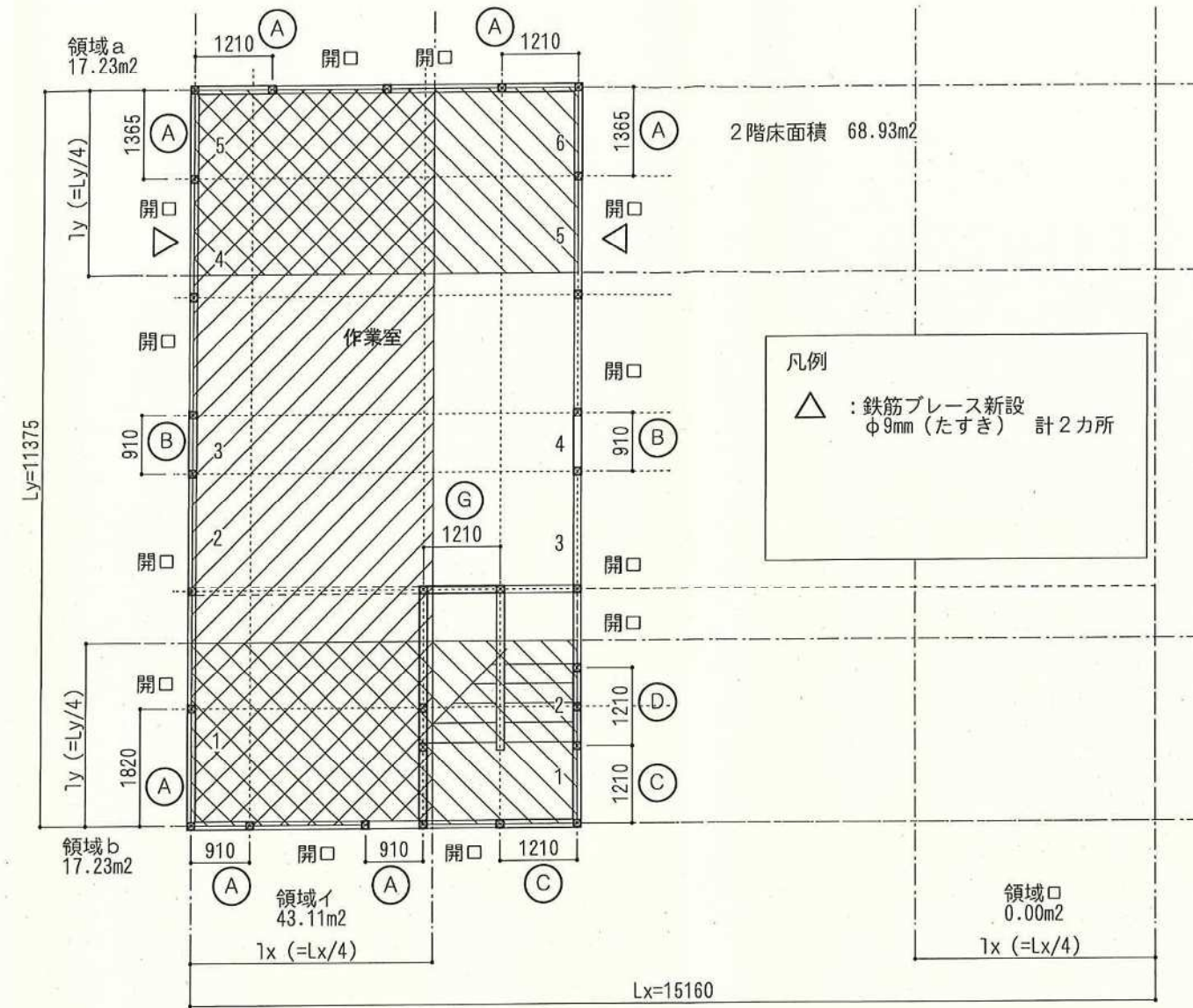
図尺

図面番号

S-04

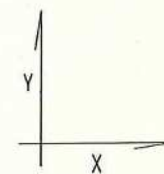
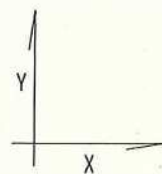


1階平面図



2階平面図

凡例
 △ : 鉄筋ブレース新設
 φ9mm (たすき) 計2カ所



(A)	筋交45×90金物無し (たすき) 窯業系サイディング張り 石こうボード張り	(C)	筋交45×90金物無し (たすき) 窯業系サイディング張り 化粧合板張り	(E)	石こうボード張り 石こうボード張り	(G)	石こうボード張り 化粧合板張り
(B)	筋交45×90金物無し (片) 窯業系サイディング張り 石こうボード張り	(D)	窯業系サイディング張り 化粧合板張り	(F)	化粧合板張り 化粧合板張り		

